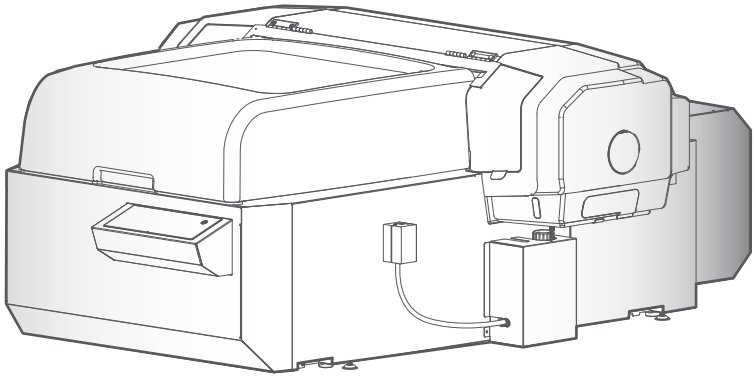
MUTOH

XPJ-661UF

スタートアップガイド

開梱と初期設定



設置場所の確認.....2
開梱 5
設置 9
プリンターの水平調整 17
セットアップ..... 25
テスト印刷..... 39
ソフトウェアのダウンロードとインストール.. 47
スリープモード..... 49
マニュアルの閲覧方法 51
安全にお使いいただくために..... 53
お問い合わせ先..... 59

- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

設置場所の確認

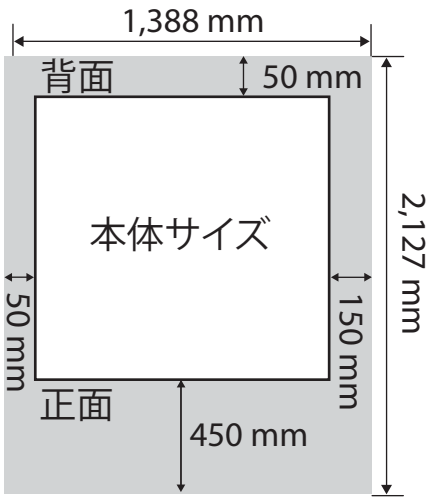
本製品は、以下のような場所に設置してください。

設置に適した場所

- 水平な場所
- 他の機器の振動が伝わらない場所
- 湿気やホコリの少ない場所
- 温度・湿度の変化が小さい場所
- 直射日光が当たらない場所
- 水などがかからない場所
- 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所
- 電磁波などのノイズが少ない場所

本製品を設置するときは、以下のスペースを確保してください。

最小設置スペース



本体サイズ		
幅 x 奥行	:	1,188 mm x 1,627 mm
高さ	:	604 mm
（スタンド取り付け時	:	1,254 mm）

Note

上記の最小設置スペースは、作業スペースを含んでいません。本製品を最大限壁に寄せて設置する場合などに参考にしてください。

設置環境に合わせて、安全に作業できる十分なスペースを確保してください。

Important!

設置台の上に置く場合は、本製品の右端と設置台の右端までのスペースが、300mm **以下となることをおすすめします。**
廃インクを排出するときに、容器までインクチューブがとどかなくなる恐れがあります。

⚠ 注　意	・**本製品をテーブルなどに設置する場合は、フロントカバーを開閉できる高さのものに設置してください。** ・**フロントカバーを全開にするときに手が離れてしまう場合は、本製品をテーブルの手前に設置してください。** 不安定な体勢でフロントカバーを開閉すると、手などを挟んだりして、ケガをする恐れがあります。 ・**かならず本製品の重量に耐えられるテーブルおよび床に設置してください。** **本製品の重量は、**130 kg **に達します。** **設置に適していないテーブルおよび床に設置すると、転倒・転落により、けがをする恐れがあります。** ・**作業場所は換気してください。** インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。 頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。 吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。 ・**直射日光の当たる場所に設置しないでください。意図しない** UV **インクの硬化により故障する可能性があります。** ・**この機器は子供がいる可能性がある場所での使用には適していません。**

本製品は、以下の電源仕様と環境条件を満たした場所に設置してください。

電源仕様

- 電圧：AC 100V ～ 240V±10%
- 周波数：50/60Hz±1Hz
- 容量：3.5 A 以上

環境条件

- 動作環境：

温度：20 ℃～ 32 ℃、湿度：40% ～ 60%、結露なきこと

- 精度保証環境：

温度：22 ℃～ 30 ℃、湿度：40% ～ 60%、結露なきこと

- 変化率：

温度：1 時間あたり 2 ℃以内、湿度：1 時間あたり 5% 以内

- プリンター保存環境：

インク未充てん保存：6ヶ月以内（温度：-20 ℃～ 60 ℃、湿度 : 20% ～ 80%、結露なきこと）

インク充てん保存：30 日[*1][*2] 以内（温度：5 ℃～ 30 ℃、湿度 : 20% ～ 80%、結露なきこと）

[*1] 取扱説明書「デイリーメンテナンス」を参照して、デイリーメンテナンスを行うこと。

[*2] スリープモードによる常時通電、7 日ごとのインク残量確認とインクのかくはんを行うこと。

- インク保存環境：

  ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、バーニッシュ（各 220 ml または 800ml）

  ホワイト（220 ml または 500ml）

  - UH21 インク
    温度：-10 ℃～ 50 ℃（ただし、40 ℃～ 50 ℃の場合は 1ヶ月以内）、湿度：5% ～ 85%、結露なきこと
  - US11 インク
    温度：5 ℃～ 35 ℃、湿度：結露なきこと
  - US61 インク
    温度：5 ℃～ 30 ℃（屋内冷暗所に保管すること）

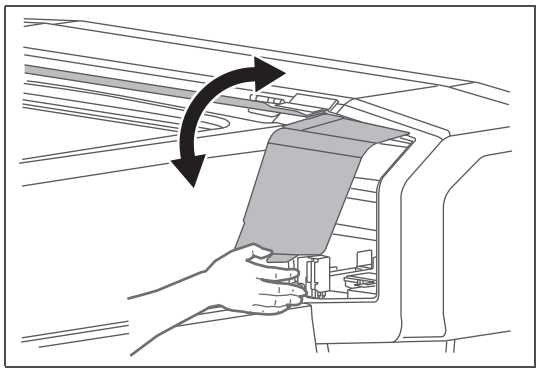
  洗浄カートリッジ（220 ml）（共通）
    温度：-20 ℃～ 40 ℃（40 ℃下 1 か月以内、熱源、可燃物から遠ざけ、換気良好な冷暗所に保管すること）

ご使用上のお願い

メンテナンスカバーの開閉について

⚠ 注　意	**・カバーの開閉は、不安定な体勢で行わないでください。** 開閉時に、手などを挟んだりして、ケガをする恐れがあります。 **・メンテナンスカバーはかならず全開してください。** 途中で止めると突然閉まる恐れがあります。 **・メンテナンスカバーを閉めるときは、指定位置を持って閉めてください。** カバーのフチやその周辺に手を掛けていると、手を挟まれてケガをする恐れがあります。

本製品はメンテナンスカバー単独で開閉することができます。
メンテナンスカバーを開けることで、日々のメンテナンスを行うことができます。



図のようにつまみを持ち、ゆっくりと開閉してください。

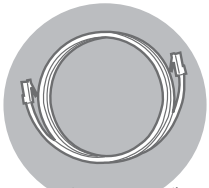
開梱

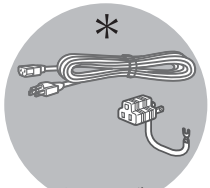
開梱を行う前に、以下のことを確認してください。

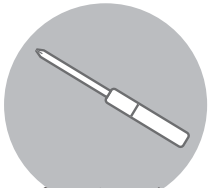
開梱準備

- 本製品の開梱、組み立て、設置作業は、かならず 4 人以上で行ってください。
- 本製品の設置と初期設定には、同梱品以外に次のものが必要です。

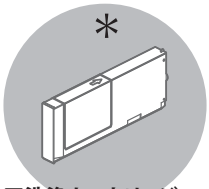
□コンピューター : 1

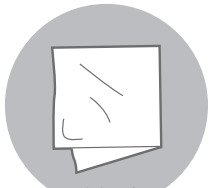

□イーサネットケーブル : 1


□電源ケーブル : 1

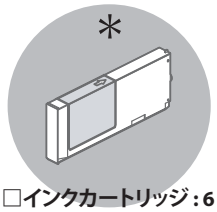

□プラスドライバー: 1

□メディア : 1


□洗浄カートリッジ : 6

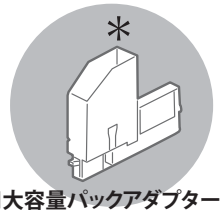

□紙や布

□専用メンテナンス液
（500 ml）: 1


□インクカートリッジ : 6

または･･･

□800 ml インクパック : 6
（UH21,US11のホワイトは500 ml）


□大容量パックアダプター : 6

警　告	かならず指定の電源ケーブルを使用してください。 指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。

Important!

コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- **OS：Windows 11 (32bit/64bit)、Windows 10 (32bit/64bit)**
- **CPU：Intel (R) Core (TM) i5 以上**
- **メモリ：8G バイト以上**
- **ネットワーク：100BASE-TX に対応したネットワークポート、Category 5 以降の 100BASE-TX 対応イーサネットケーブルを使用**

Note

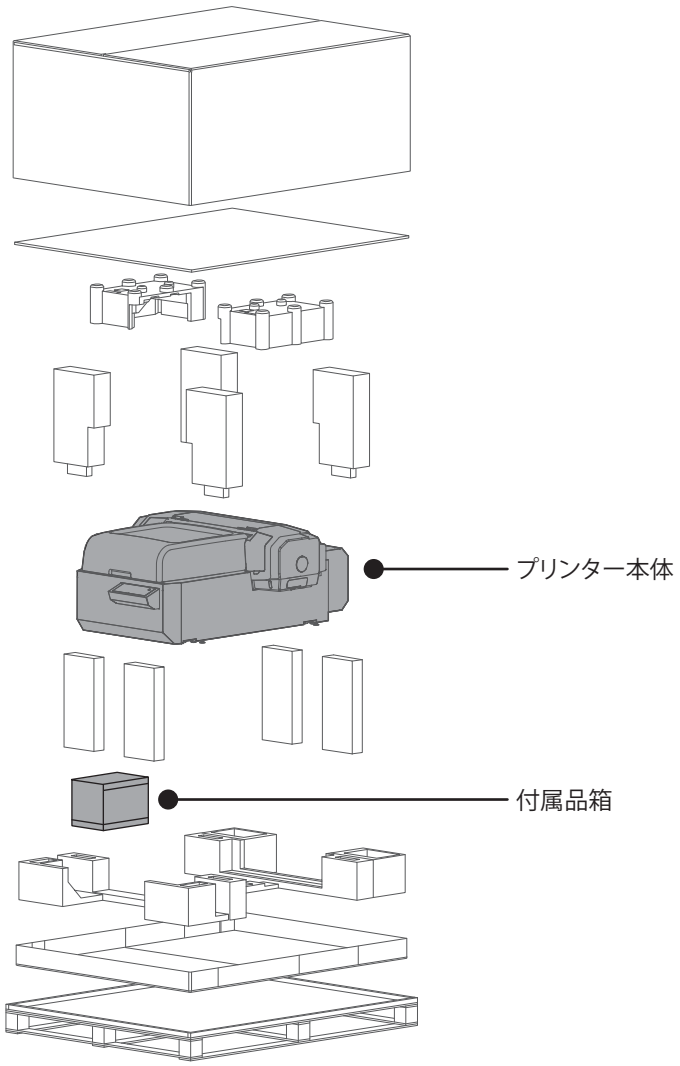
- Windows 11 を使用する場合は、MSM のバージョン 8.13 以降をお使いください。
- 上のイラストで「＊」印がついているものは、オプションまたはサプライ品です。
- 紙や布：廃液を排出するときに、設置台や床の汚れ防止のために敷くものです。インクが裏抜けしない、汚れてもかまわない紙や布をご用意ください。
- 大容量パックアダプターへの 500 ml / 800ml インクパックの取り付け方法は、大容量パックアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトによる各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

本製品の開梱を行います。

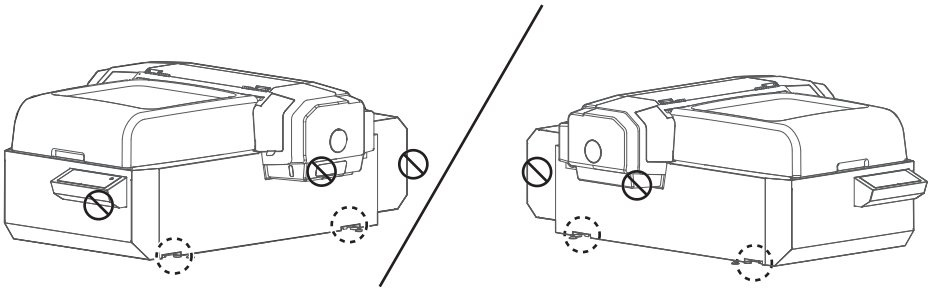
プリンターの開梱

⚠ 注　意	・プリンターを開梱または移動する場合は、かならず 4 人以上で作業してください。 ・本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。 ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。 ・プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。

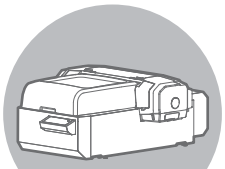
[1]　梱包箱を開き、各部品を取り出します。



⚠ 注　意	本製品を移動する場合は、かならず製品の下面のくぼみを持ってください。 製品後方部や側面部、操作パネルを持つと、製品が破損する恐れがあります。

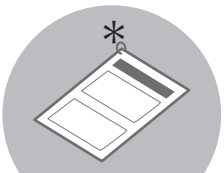


[2] 同梱品がすべてそろっているか、確認します。

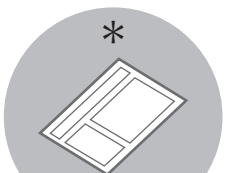

□本体 : 1

□ダウンロード案内シート
: 日/英 各1

□設置要領書 : 日/英各1
「スタートアップガイド」(本書)

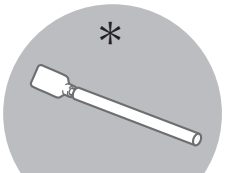

□専用インク注意シート
: 日/英 各1

□取扱注意シート
: 日/英 各1


□デイリーメンテナンスシート
: 日/英 各1

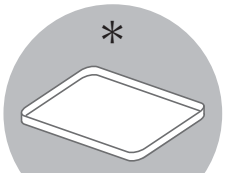
□立体物印刷注意シート
: 日/英 各1

□ペーパータオル : 5


□クリーンスティック : 50

□スポイト（5 ml）: 2

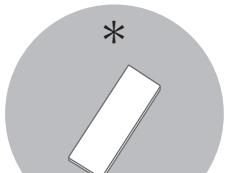
□プラスチックカップ
（100 ml）: 1

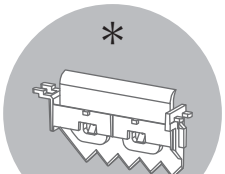

□ステンレスバット : 1

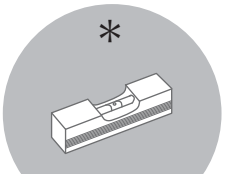
□ゴム手袋 : 100

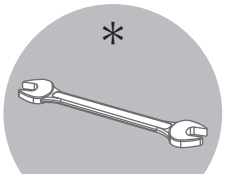
□ポリエチレン手袋 : 100

□ゴーグル : 1


□スクレイパー : 2

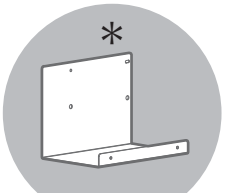

□クリーニングワイパー: 3


□ミニレベル : 1

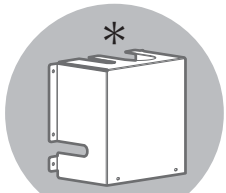

□ミニスパナ: 1

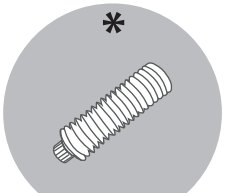
□六角レンチ: 1

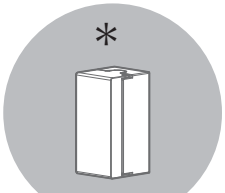
□廃液タンク : 1

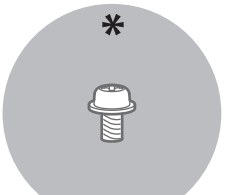

□廃液タンク受け : 1

□ネジ M3×6: 13


□廃液タンクカバー : 1


□潤滑グリス : 1


□開閉コッククランプ : 1


□ネジ M4×8: 4

Note

- 上のイラストで「＊」印がついているものは、付属品箱に入っています。
- 注意シート類はリングで 1 つにまとめてあります。

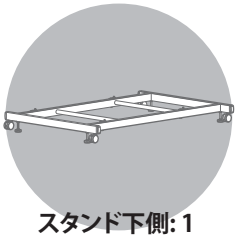
スタンド（オプション）の開梱

スタンドはオプション品です。本製品の梱包箱には含まれていません。

[1] **梱包箱を開き、各部品を取り出します。**

[2] **同梱品がすべてそろっているか、確認します。**

スタンド上側: 1



スタンド下側: 1

スタンド中側: 2

六角穴付きネジ: 8

六角レンチ: 1

蝶ネジ: 4

ミニスパナ: 1

設置

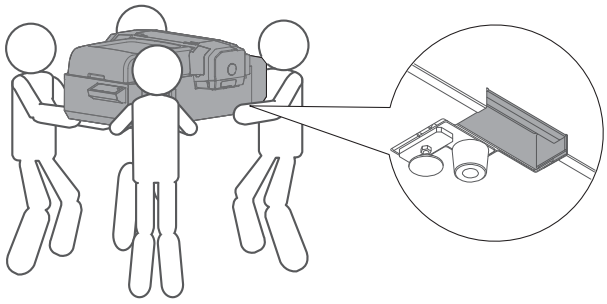
以下の手順に従って、プリンターを移動し、保護材を取り外します。

プリンターの移動

⚠ 注　意	・プリンターを開梱または移動する場合は、かならず 4 人以上で作業してください。 ・本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。 ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。 ・プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。

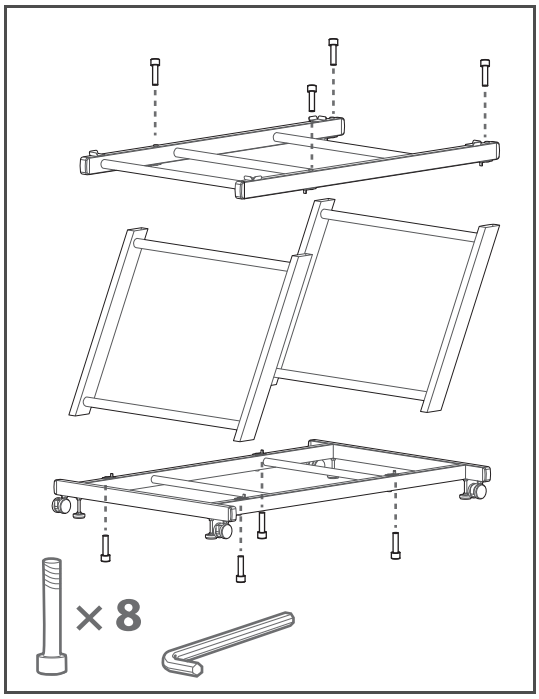
プリンターを 4 人以上で持ち上げ、設置場所に移動します。

・プリンターを持つときは、下面のくぼみを利用します。



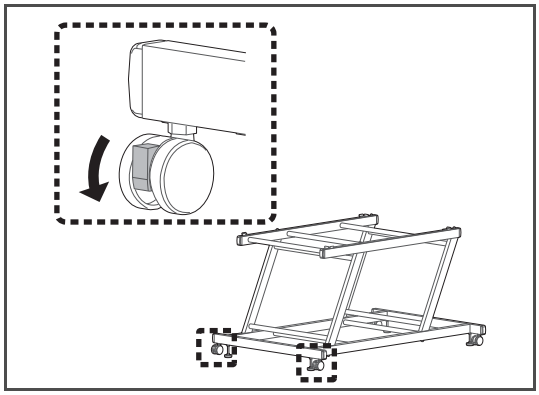
スタンド（オプション）の組み立て

[1]



スタンドを組み立てます。

[2]

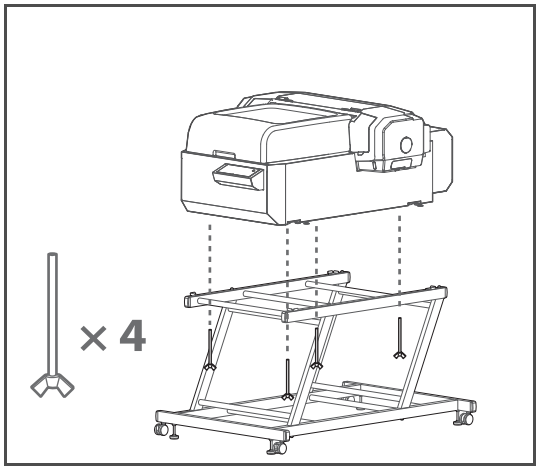


キャスターをロックします。

Note

VJ626-STD-01 を購入のお客様は、スタンドを組み立てた後、同梱されている手順書に従って補強部材を取り付けてください。

[3]



本体のアジャスターをスタンドに合わせて載せます。
・蝶ネジ 4 本で固定します。

保護材の取り外しとダンパーの取り付け

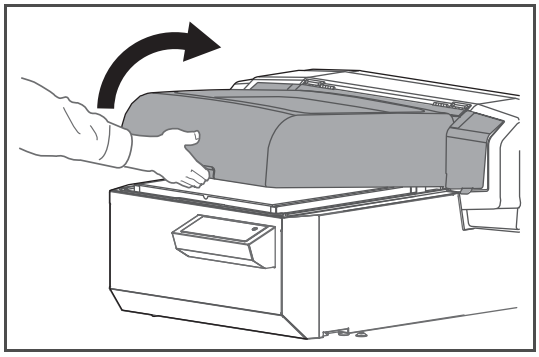
この手順では、本体同梱の六角レンチとネジ（4 本）を使用します。

⚠ 注　意	・カバーの開閉は、不安定な体勢で行わないでください。 開閉時に、手などを挟んだりして、ケガをする恐れがあります。 ・ダンパーを取り付けるときは、かならず 2 人以上で作業を行ってください。 ・フロントカバーを開閉するときは、指定位置を持ってゆっくりと開閉してください。 開閉時に必要以上に負荷をかけると、部品の寿命低下や機体の破損につながる恐れがあります。 ・取り外した保護材をテーブルに落とさないでください。また、テーブルに物を置かないでください。 印刷品質の低下につながる恐れがあります。

手順

[1]　各カバーに貼られているテープを全て剥がします。

[2]

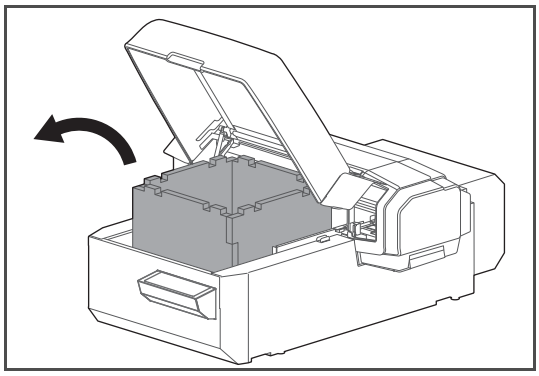


フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開きます。

Important!

ダンパーの取り付け手順が完了するまでは、かならず 2 人以上で作業を行ってください。
カバーが閉じてしまわないように、1 人がフロントカバーを押さえている間に、もう 1 人が作業を行ってください。

[3]

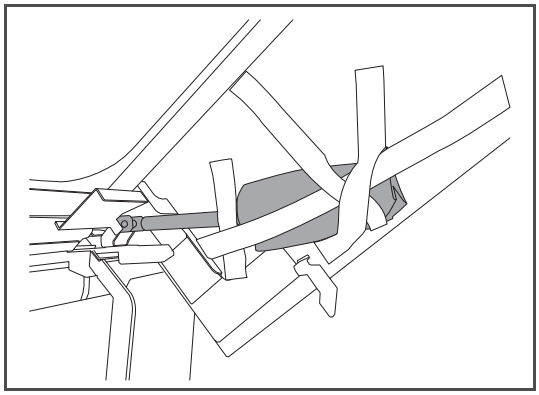


テーブル上の保護材を取り外します。

Important!

カバーを 90 度以上開かないでください。
機体の破損につながる恐れがあります。

[4]

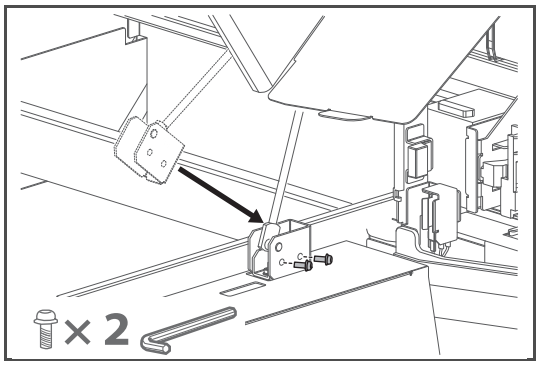


カバー内側に固定してあるダンパーを取り外します（左のイラストは右側のダンパーの例です）。
・テープと緩衝材を取り外します。

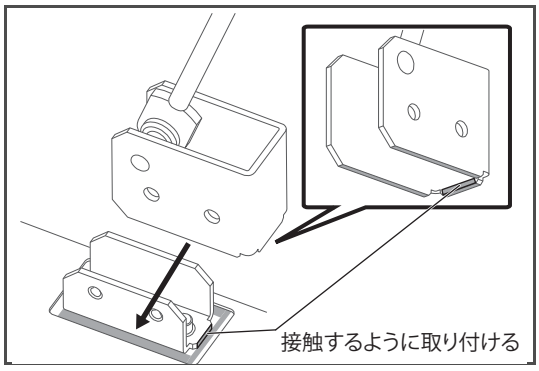
Important!

・かならず 2 人以上で作業を行ってください。
1 人がカバーを押さえている間に、もう 1 人がダンパーを取り外してください。
・カバーを 90 度以上開かないでください。
機体の破損につながる恐れがあります。

[5]



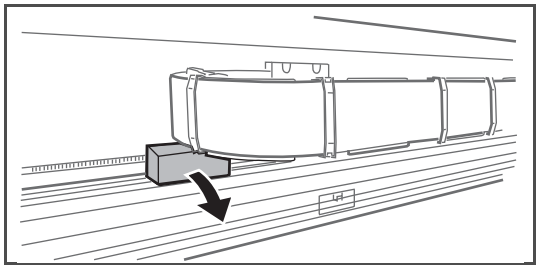
ダンパーを本体に取り付けます。



・六角レンチを使用して、付属のネジ（2 本）で固定します。
・本体の部品としっかりと接触するように取り付けてください。

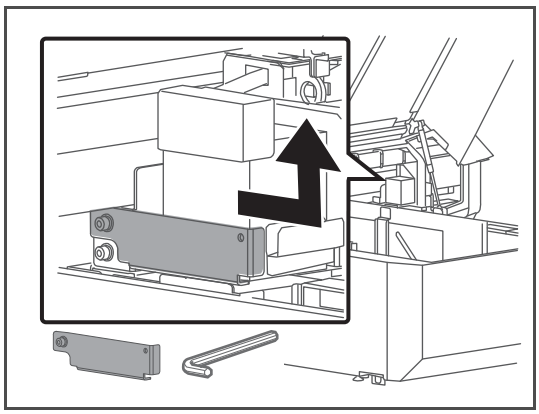
[6] 手順 4、5 を参考にして、反対側のダンパーを本体に取り付けます。

[7]



スチールベアの保護材を取り外します。

[8]



ネジをゆるめ、UV-LED ランプ固定板を取り外します。

・UV-LED ランプ固定板は手前側にスライドして抜き取ります。

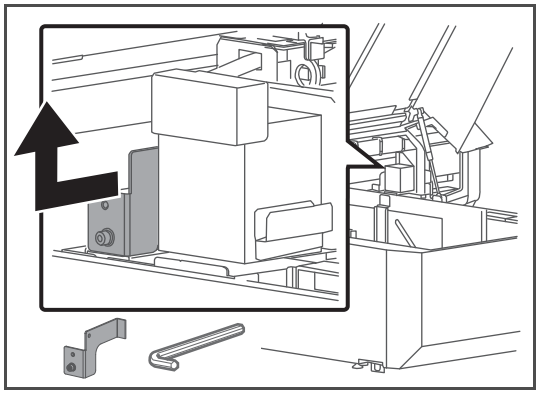
Important!

・ネジは落下防止のため、ワッシャーで固定板に固定されています。ネジを完全に取り外さないでください。

・固定板が周囲の部品をキズつけないように、慎重に取り外してください。
キズがつくと、印刷品質が低下する場合があります。

・取り外した固定板はネジが付いた状態で保管してください。

[9]



ネジをゆるめ、ヘッド固定板を取り外します。

・ヘッド固定板は左側にスライドして抜き取ります。

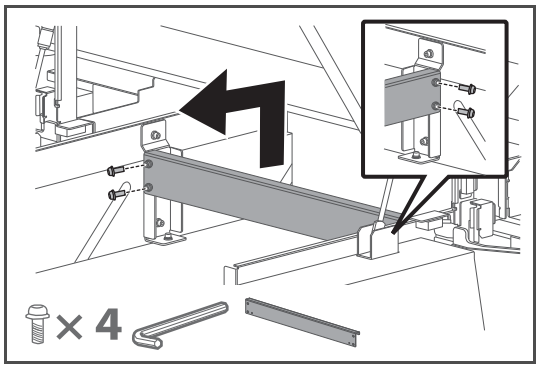
Important!

・ネジは落下防止のため、ワッシャーで固定板に固定されています。ネジを完全に取り外さないでください。

・固定板が周囲の部品をキズつけないように、慎重に取り外してください。
キズがつくと、印刷品質が低下する場合があります。

・取り外した固定板はネジが付いた状態で保管してください。

[10]



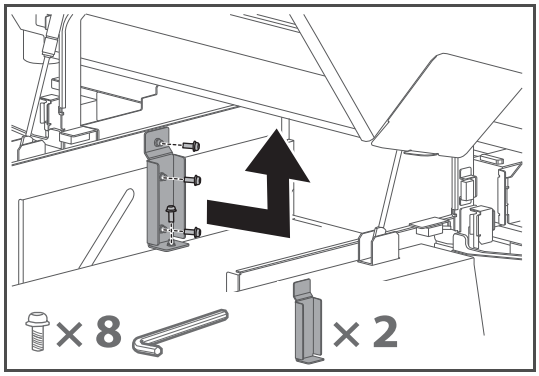
ネジ（4 本）を取り外し、テーブル固定板連結材を取り外します。

Note

・ネジ同士は赤色の結束帯で連結しています。
すべてのネジを取り外してから、連結材を取り外してください。

・取り外したネジは、そのまま保管してください。

[11]



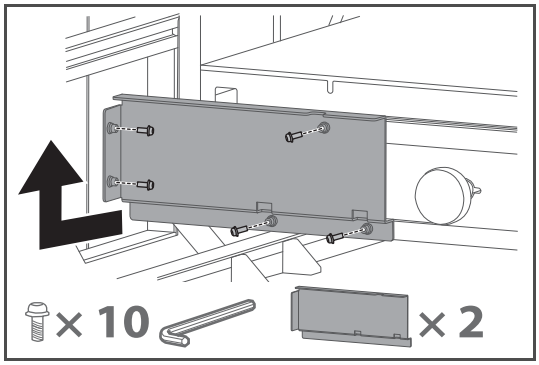
ネジ（4 本）を取り外し、テーブル固定板を取り外します。
同様に反対側のテーブル固定板も取り外します。

Note

・ネジ同士は赤色の結束帯で連結しています。
すべてのネジを取り外してから、固定板を取り外してください。

・取り外したネジは、そのまま保管してください。

[12]



ネジ（5 本）を取り外し、テーブル固定板を取り外します。
同様にもう一つのテーブル固定板を取り外します。

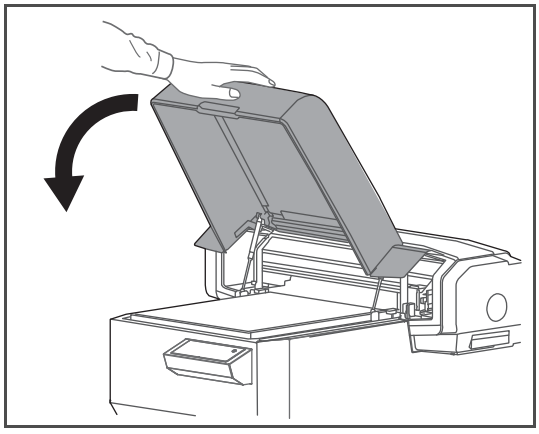
Note

- ネジ同士は赤色の結束帯で連結しています。
  すべてのネジを取り外してから、固定板を取り外してください。
- 取り外したネジは、そのまま保管してください。

Important!

UV-LED ランプ固定板、ヘッド固定板、テーブル固定板、テーブル固定板連結材とネジは、輸送するときに再利用しますので保管しておいてください。

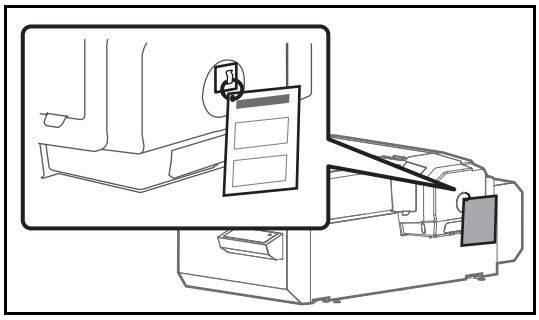
[13]



フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと閉じます。

注意シートの取り付け

[1]



注意シートをフックに掛けます。

Note

- 注意シート類はリングで 1 つにまとめてあります。

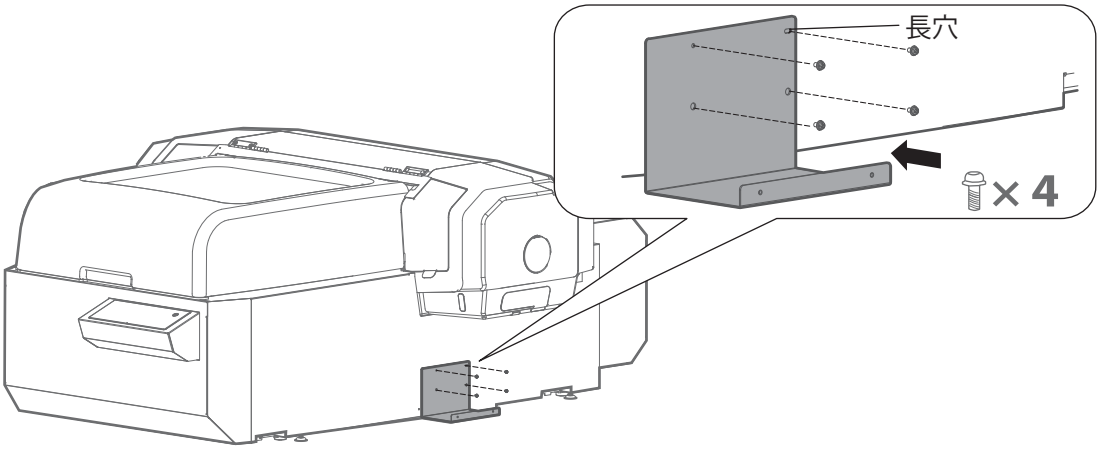
Important!

注意シートには、本製品を問題なくご使用いただくために、注意していただきたいことが記載されています。
本製品をご使用される前に、かならず内容を確認してください。

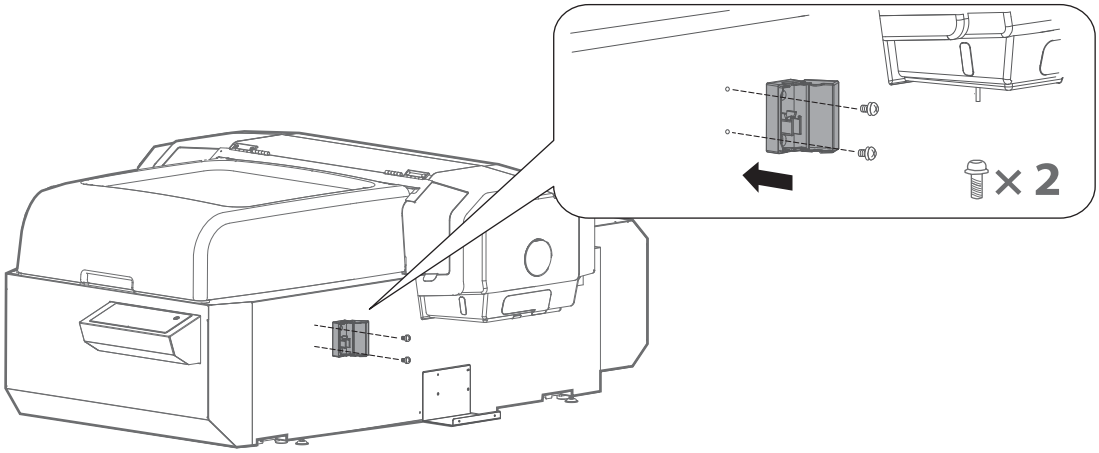
以下の手順に従って、廃液タンクを取り付けます。

廃液タンクの取り付け

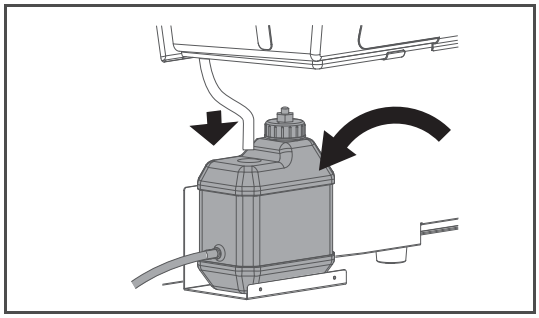
[1] 廃液タンク受けを本体右側に、ネジ（M3×6：4 本）で固定します。
・長穴のネジ穴を目印に取り付けてください。



[2] 開閉コックククランプを本体右側に、ネジ（M3×6：2 本）で固定します。



[3]

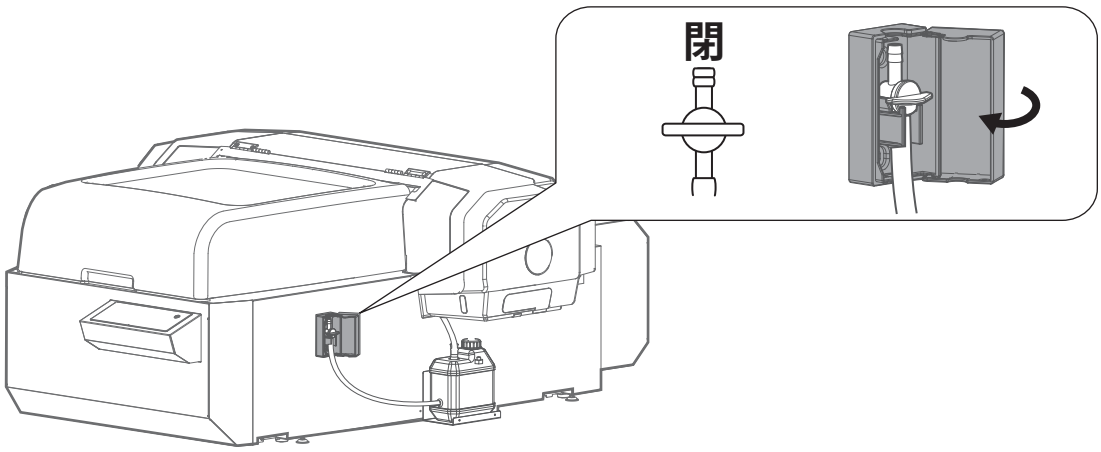


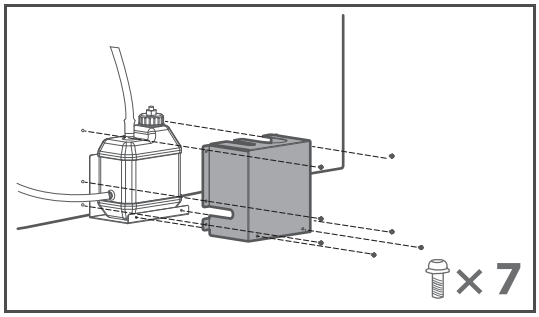
廃液タンクをセットします。
・廃液タンク受けに、廃液タンクを載せます。
・廃液タンクに廃液チューブを差込みます。

Important!

・廃液チューブが、廃液タンクの口にしっかりと差し込まれていることを確認してください。
しっかりと差し込まれていない場合、インク漏れが発生する恐れがあります。

[4] 開閉コックが閉じていることを確認し、開閉コッククランプに収納してカバーを閉じます。



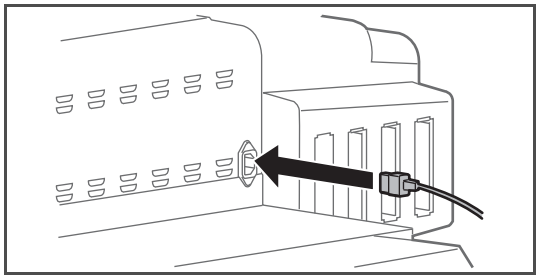
[5] 

廃液タンクカバーを本体右側に、ネジ（M3×6：7 本）で固定します。

以下の手順に従って、電源ケーブルとイーサネットケーブルを接続します。

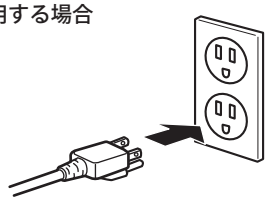
電源ケーブルとイーサネットケーブルの接続

[1] フロントカバーが閉じていることを確認します。

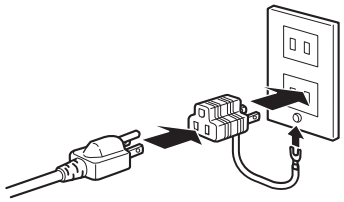
[2] 

電源ケーブルを本製品に接続します。

[3] 3芯プラグを使用する場合



3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合

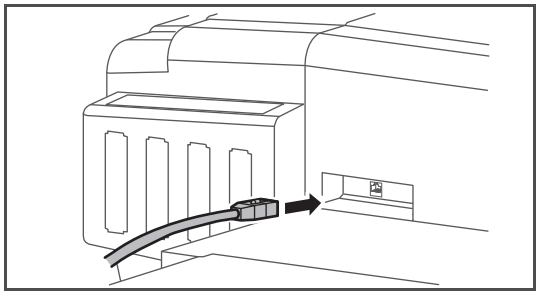


電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

⚠ 警　告

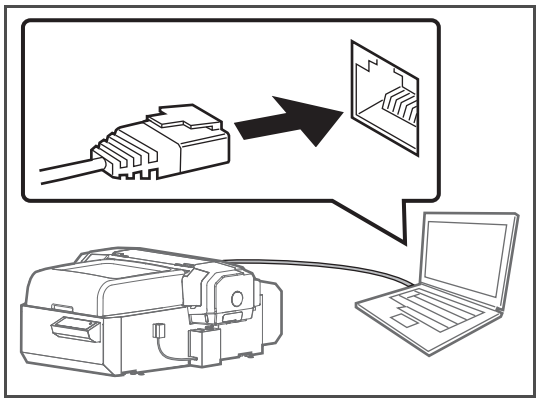
- 電源タップを使用しないでください。
- 3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合は、必ずアース線を接続してください。

[4]



イーサネットケーブルを本製品に接続します。

[5]



イーサネットケーブルを、コンピューターに接続します。

Note

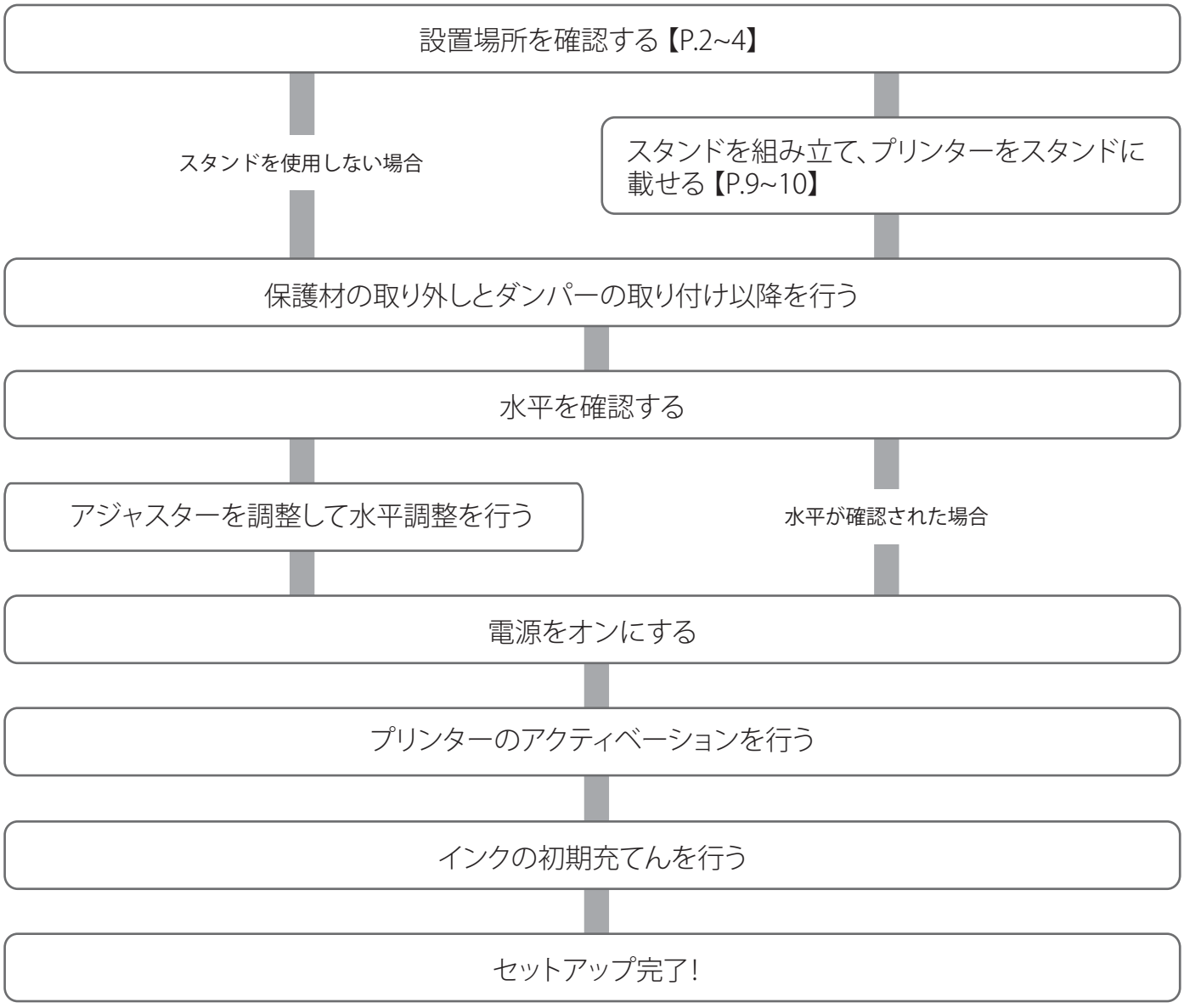
- 左図は本製品とコンピューターを 1 対 1 接続した例です。
  接続方法はご使用の環境により異なります。
- 本製品を LAN で使用する場合は、接続先のコンピューターと同じサブネットになるようにしてください。

プリンターの水平調整

プリンターご使用までの流れ

本製品のご使用までの流れは以下の通りです。

ご使用前にかならず本製品が水平になっているかを確認してください。
電源をオンにする前に、水平調整を行います。

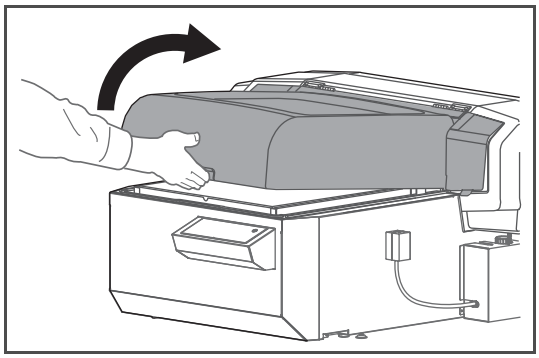


以下の手順に従って、プリンターの水平調整を行います。

水平を確認する

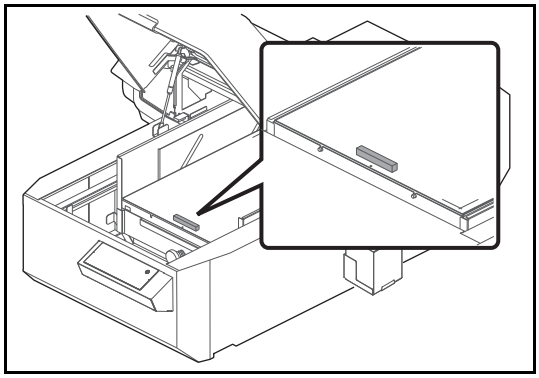
⚠ 注　意	・カバーの開閉は、不安定な体勢で行わないでください。 開閉時に、手などを挟んだりして、ケガをする恐れがあります。 ・フロントカバーを開閉するときは、指定位置を持ってゆっくりと開閉してください。 開閉時に必要以上に負荷をかけると、部品の寿命低下や機体の破損につながる恐れがあります。

[1]



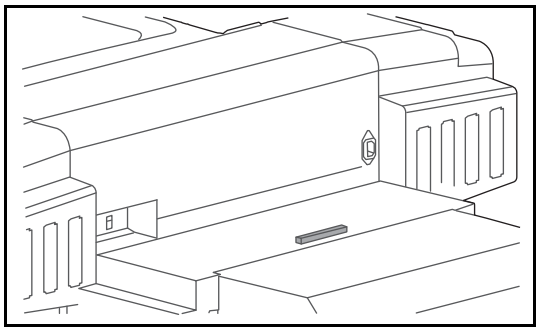
フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開きます。

[2]



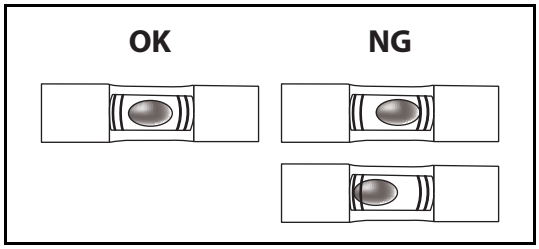
同梱のミニレベルを使用して、水平を確認します。
ミニレベルを以下の場所（計 2 箇所）に置きます。

・テーブル上の 1 箇所



・プリンター後方のカバー上の 1 箇所

[3]



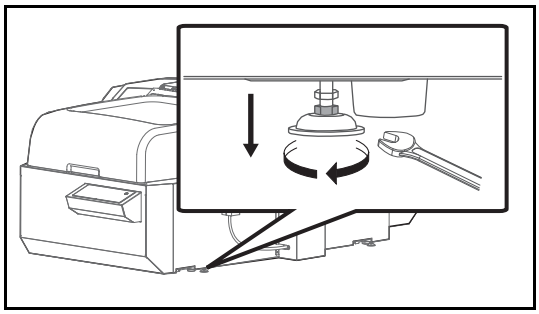
・ミニレベルの泡が、左のイラストで NG の場合は、水平調整を行います。
☞「水平調整をする」P. 19

・2 箇所ともミニレベルの泡が、左のイラストで OK の場合は、水平調整を行う必要はありません。
☞「電源をオンにする」P. 23

水平調整をする

スタンドを使用しない場合

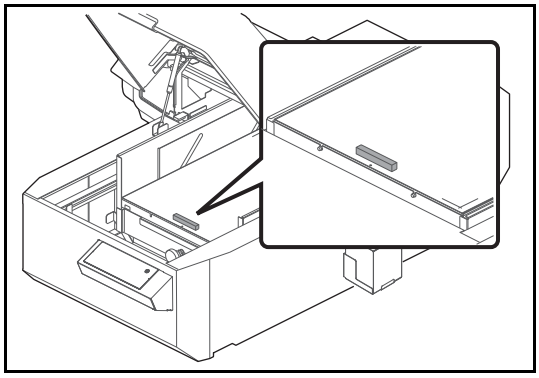
[1]



プリンターのアジャスター（計 4 箇所）を調整し、プリンターのゴム足がわずかに浮くようにします。

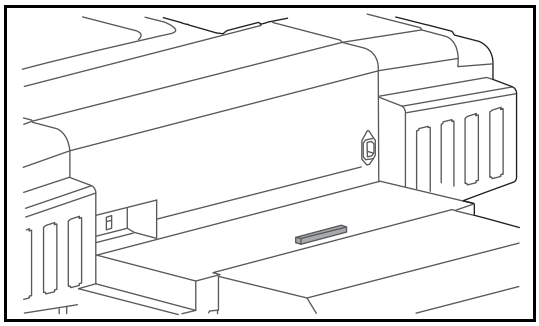
・下側のナットをミニスパナで回して調整します。

[2]



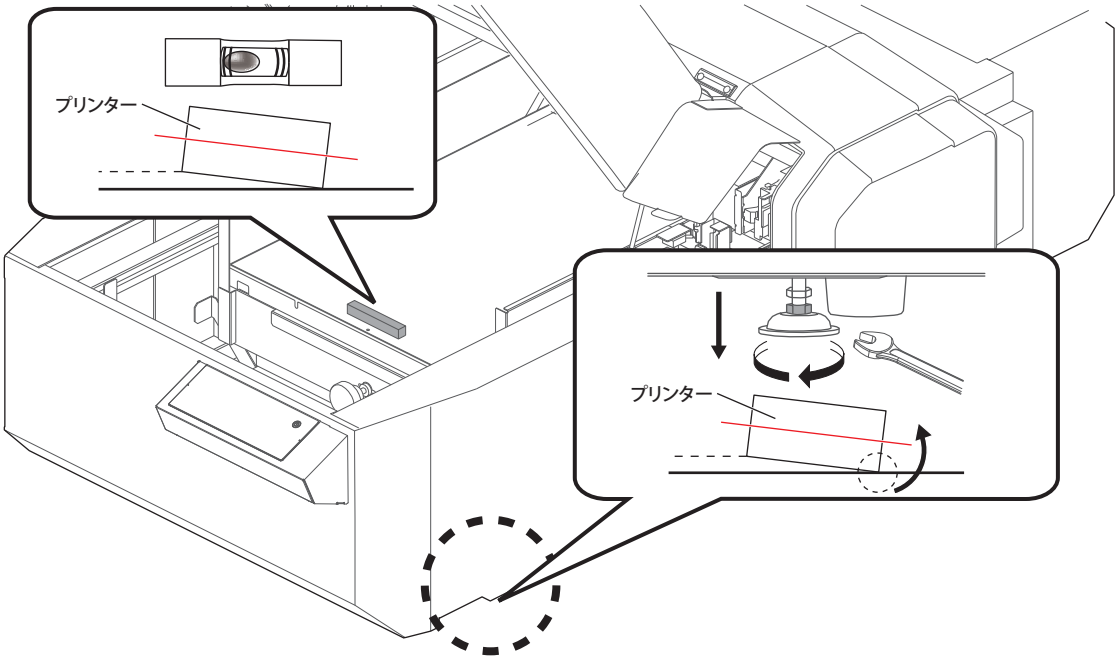
同梱のミニレベルを使用して、水平を確認します。
ミニレベルを以下の場所（計 2 箇所）に置きます。

・テーブル上の 1 箇所



・プリンター後方のカバー上の 1 箇所

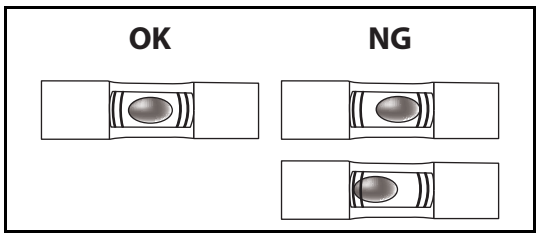
[3] 最も傾いていると思われる場所のアジャスターを調整します。
・本体に同梱のミニスパナを使用します。
・下のイラストの例では、プリンター正面の右側のアジャスターを調整します。



Note
2 箇所すべてをミニレベルで確認してから、調整を行ってください。

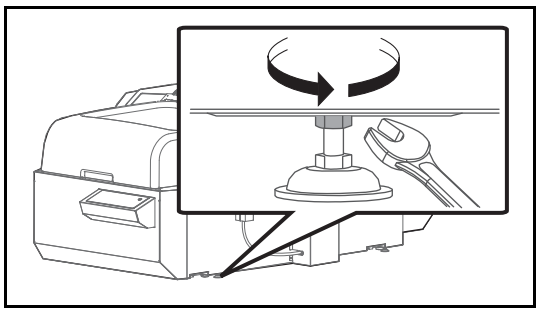
警　告	アジャスターの調整を行うときは、プリンターのゴム足が接地面から 15mm 以上浮かないようにしてください。 プリンターからアジャスターが外れ、ケガをする恐れがあります。

[4]



調整後、2 箇所の水平を確認します。
・2 箇所とも水平になった場合は、手順 5 に進みます。
・水平でない場合は、手順 3 に戻り、調整を行います。

[5]



アジャスター（計 4 箇所）の上側のナットが本体に付くように、付属のスパナでナットを締めます。

Important!
アジャスター（計 4 箇所）の上側のナットがしっかりと固定されていることを確認してください。
固定されていない場合、本製品の水平を保証できません。

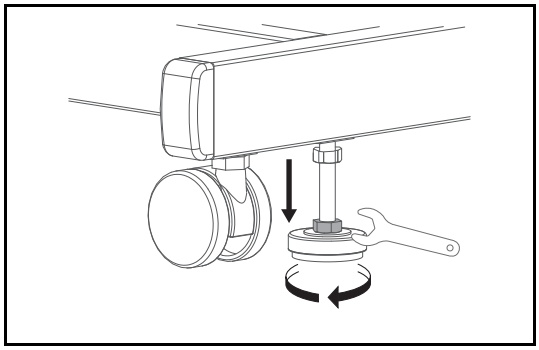
[6] フロントカバーをゆっくりと閉じます。
☞「電源をオンにする」P. 23

スタンドを使用する場合

Note

スタンド（オプション）を使用する場合の水平調整には、スタンド付属のミニスパナをご使用ください。

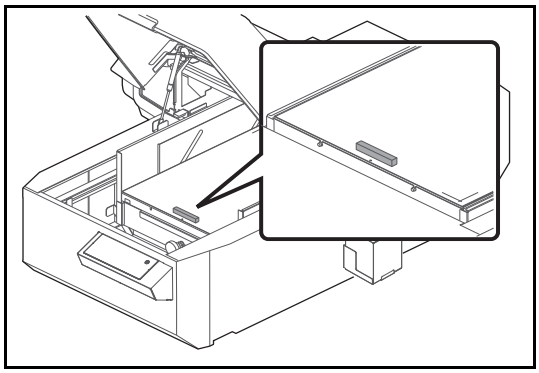
[1]



スタンドのアジャスター（計 4 箇所）を調整し、スタンドのキャスターがわずかに浮くようにします。

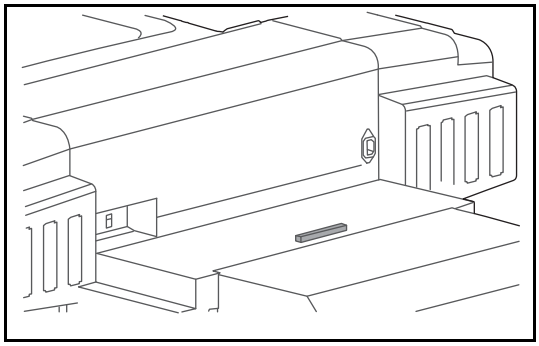
・下側のナットをミニスパナで回して調整します。

[2]



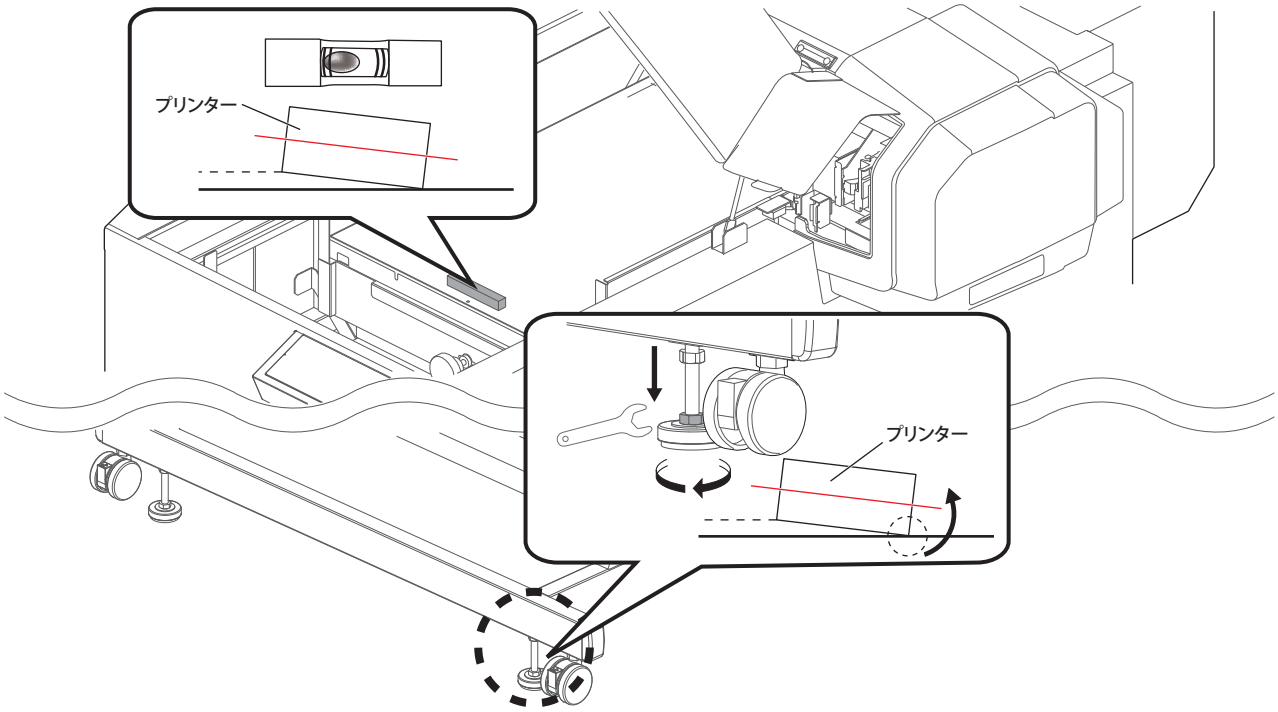
同梱のミニレベルを使用して、水平を確認します。
ミニレベルを以下の場所（計 2 箇所）に置きます。

・テーブル上の 1 箇所



・プリンター後方のカバー上の 1 箇所

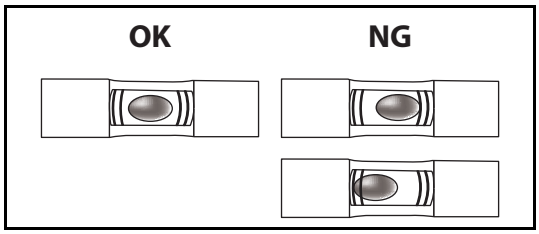
[3] 最も傾いていると思われる場所のアジャスターを調整します。
・スタンドに同梱のミニスパナを使用します。
・下のイラストの例では、スタンド正面の右側のアジャスターを調整します。



Note
2 箇所すべてをミニレベルで確認してから、調整を行ってください。

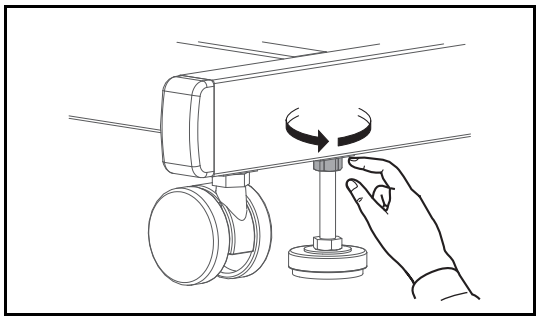
警　告	アジャスターの調整を行うときは、スタンドのキャスターが接地面から 15mm 以上浮かないようにしてください。 スタンドからアジャスターが外れ、ケガをする恐れがあります。

[4]



調整後、2 箇所の水平を確認します。
・2 箇所とも水平になった場合は、手順 5 に進みます。
・水平でない場合は、手順 3 に戻り、調整を行います。

[5]



アジャスター（計 4 箇所）の上側のナットがスタンドに付くように、手でナットを締めます。

Note
手でナットを締めづらい場合は、ミニスパナでナットを回してください。

Important!
アジャスター（計 4 箇所）上側のナットがしっかりと固定されていることを確認してください。
固定されていない場合、本製品の水平を保証できません。

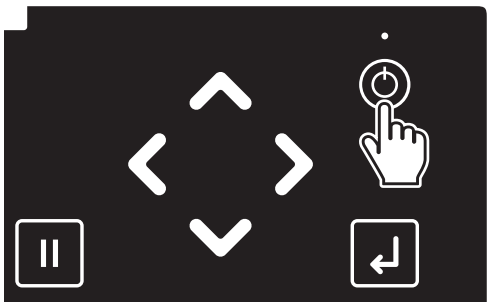
[6] フロントカバーをゆっくりと閉じます。
☞「電源をオンにする」P. 23

プリンターを起動して、水平を確認します。

電源をオンにする

[1] フロントカバーが閉じていることを確認します。

[2]



操作パネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。

・各キーが点灯します。

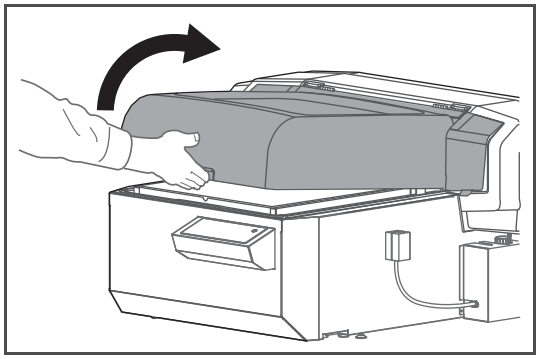
・本製品が初期動作を開始します。

Note

「Welcome」と表示されたら、電源ボタンを離してください。

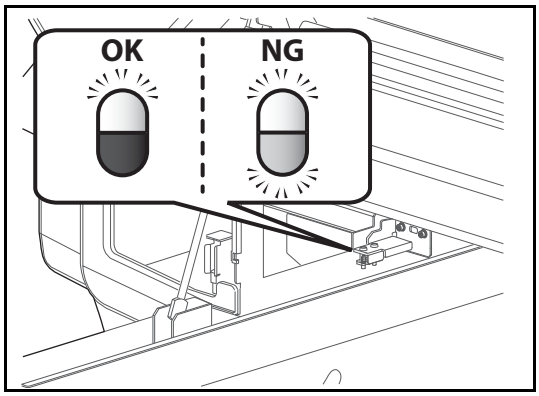
障害物センサーの確認を行う

[1]



フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開きます。

[2]



障害物センサーの受光部を確認します。

・受光部が緑色に点灯している場合は調整は不要です。フロントカバーを閉じて、次の手順に進みます。

☞「セットアップ」P. 25

・受光部が緑色とオレンジ色の両方点灯している場合は、緑色のみ点灯するように水平調整を行います。

☞「障害物センサーの受光部がオレンジ色に点灯している場合」P. 24

Important!

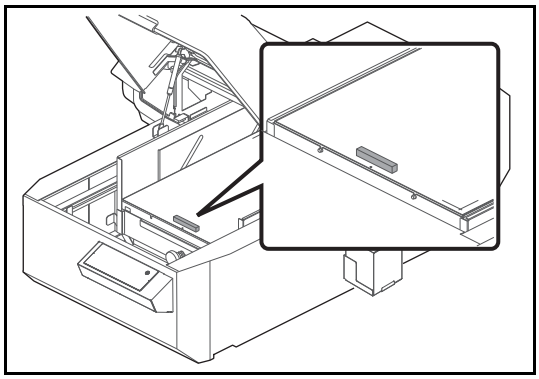
本製品使用時に障害物検出領域に物を置かないでください。
障害物検出領域に物を置くと、障害物センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。
詳細については、取扱説明書「本製品の印刷エリア」を参照してください。

障害物センサーの受光部がオレンジ色に点灯している場合

Note

正常にイニシャル動作を行えないために、操作パネルにエラーが表示されます。
そのまま、下記の手順に従い、障害物センサーが緑色に点灯するように水平調整を行ってください。

[1]

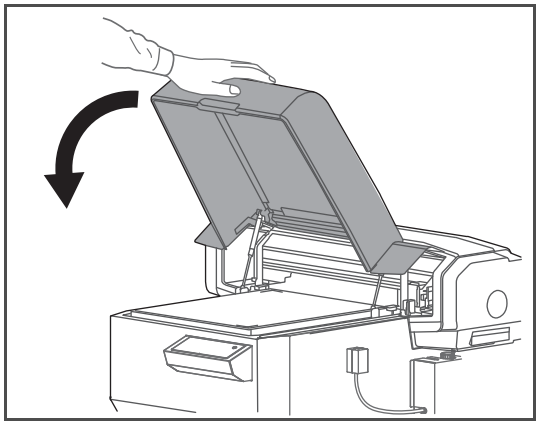


・左図のように、同梱のミニレベルをテーブル上に置いて、水平調整を行います。調整方法は以下を参考にしてください。

☞「水平調整をする」P. 19

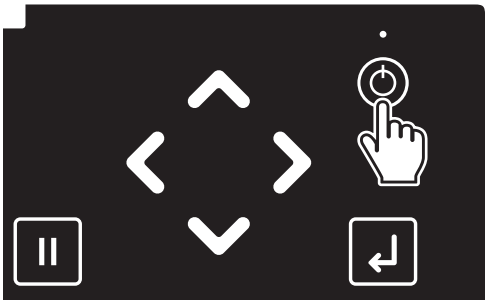
・障害物センサーの受光部が緑色に点灯しているか確認し、ミニレベルを取り外します。

[2]



フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと閉じます。

[3]



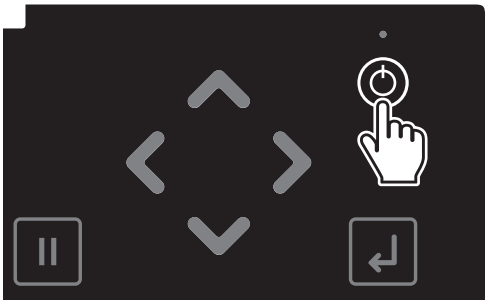
操作パネルの電源ボタンを 2 秒以上押して、電源をオフにします。

・各キーが消灯します。

Note

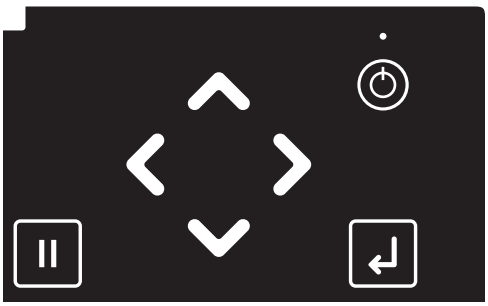
「デンゲンシャダンチュウ」と表示されたら、電源ボタンを離してください。

[4]



しばらく待ってから電源ボタンを 2 秒以上押して、本製品を再起動します。

・各キーが点灯します。



Note

各キーが点灯したら、電源ボタンを離してください。

セットアップ

以下のフローに従って、初期設定を行います。

Note

セットアップは、2 種類の方法があります。お好みの方法をお選びください。

- MUTOH Status Monitor (MSM) のスタートアップウィザードから行う方法
  ☞「スタートアップウィザードを使ったセットアップの流れ」P. 25
- 本書を見ながら、操作パネルで行う方法
  ☞「操作パネルを使ったセットアップの流れ」P. 27

スタートアップウィザードを使ったセットアップの流れ

MUTOH Status Monitorのインストール

MUTOH Status Monitor (MSM) を、コンピューターにインストールします。

アクティベーション

本製品のアクティベーションをします。

初期設定

本製品の IP アドレスの設定や、MSM の初期設定をします。

初期充てん

本製品にインクカートリッジ（インクパック）を取り付け、プリントヘッドをインクで満たします。

メディアのセット

ノズルチェックを印刷するメディアをセットします。

ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズル抜けがなくなるまでヘッドクリーニングを行います。

セットアップ完了!

MSM のインストール

MSM のスタートアップウィザードを使って、セットアップを行う場合は、MSM をインストールしてください。
MSM のインストール後は、MSM のスタートアップウィザードに従って、初期設定を行ってください。

Important!

- **MSM は、必ず MUTOH Club からダウンロードしたものをご使用ください。**
- **MSM のインストール方法については、以下を参照してください。**

☞ 「ソフトウェアのダウンロードとインストール」P. 47

操作パネルを使ったセットアップの流れ

初期設定を行う

操作パネルの表示言語、単位、本製品のネットワークを設定します。

アクティベーションを行う

本製品のアクティベーションを、操作パネルで行います。

初期充てん

本製品にインクカートリッジ（インクパック）を取り付け、プリントヘッドをインクで満たします。

メディアのセット

ノズルチェックを印刷するメディアをセットします。

ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズル抜けがなくなるまでヘッドクリーニングを行います。

コンピューターとの接続

プリンターの IP アドレスを、操作パネルで入力します。
MUTOH Status Monitor (MSM) のインストールを行い、MSM 上で設定を行います。

セットアップ完了!

操作パネルの使い方

操作パネルはタッチパネルになっており、操作が有効なキーが発光するようになっています。

- タップ：キーに軽く触れて、すぐに指を離します。
- ロングタッチ：キーに触れた状態を保ちます。

ディスプレイ表示の設定を行います。

Step 1　初期設定

[1]　フロントカバーが閉じていることを確認します。

[2]

▲/▼キーで「Japanese」を選択します。

[Enter] キーをタップします。

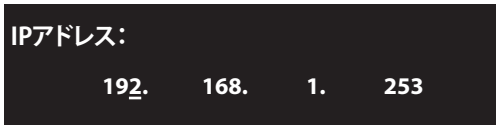
[3]

[Enter] キーをタップします。

[4]

インク残量の表示をディスプレイ上で行うかを設定します。
▲/▼キーでオンオフを選択し、[Enter] キーをタップします。

[5]



本製品の IP アドレスを設定します。

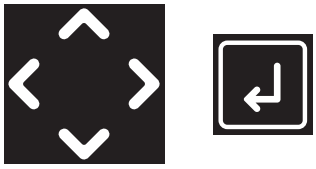
- ▲キー：設定値を増加させます。
- ▼キー ：設定値を減少させます。
- ◀キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- ▶キー：カーソルが次の設定値に移動します。

入力後、[Enter] キーをタップします。

[6]

サブネットマスク:
255. 255. 255. 0

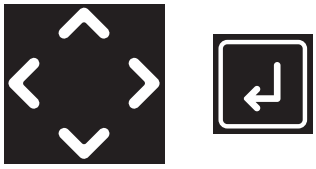
本製品のサブネットマスクを設定します。
・ キー：設定値を増加させます。
・ キー ：設定値を減少させます。
・ キー：カーソルが前の設定値に移動します。
・ キー：カーソルが次の設定値に移動します。
すべての設定値を入力してください。
入力後、[Enter] キーをタップします。



[7]

ゲートウェイ:
192. 168. 1. 254

本製品のゲートウェイを設定します。
・ キー：設定値を増加させます。
・ キー ：設定値を減少させます。
・ キー：カーソルが前の設定値に移動します。
・ キー：カーソルが次の設定値に移動します。
すべての設定値を入力してください。
入力後、[Enter] キーをタップします。



[8]

ケイコクブザー:
オフ

エラーが発生したときの警告ブザーの動作を設定します。
・「オフ」に設定することで、夜間に印刷するときなど、操作を行う人がいない場合に、警告ブザーが鳴り続けることを防止できます。
/ キーでオンオフを選択し、[Enter] キーをタップします。

[9]

イニシャルチュウ

本製品が初期動作を開始します。

操作パネルに従って、アクティベーションを行います。

Step 2　アクティベーション

アクティベーション　ヲ　シテクダサイ

左のメッセージが表示されたらアクティベーションを行ってください。
アクティベーションには 2 種類の方法があります。
☞本書「操作パネルから設定する場合」P. 30
☞本書「インターネットから設定する場合」P. 30

操作パネルから設定する場合

[1]

```
アクティベーション　ヲ　シテクダサイ
```

左のメッセージが表示されたら、[Enter] キーをタップします。

Note

上記のメッセージが表示されているときに キーをタップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

[2]

```
0000-0000-0000-0000
```

16 桁のアクティベーションコードを入力します。

・ キー：設定値を増加させます。

・ キー ：設定値を減少させます。

・ キー：カーソルが前の設定値に移動します。

・ キー：カーソルが次の設定値に移動します。

入力後、[Enter] キーをタップします。

Note

アクティベーションコードは販売店から E メールなどで入手してください。

[3]

```
アクティベーション　セイコウ!
プリンタ　ヲ　サイキドウ
```

左のメッセージが表示されたら、電源ボタンを 2 秒以上押して、電源をオフにします。

・「デンゲンシャダンチュウ」のメッセージが表示されたら、電源ボタンを離してください。

しばらく待ってから電源ボタンを 2 秒以上押して、再起動します。

インターネットから設定する場合

```
アクティベーション　ヲ　シテクダサイ
```

左のメッセージが表示されたら、「プリンタ・アクティベーションガイド」に従ってアクティベーションを行ってください。

Note

「プリンタ・アクティベーションガイド」とアクティベーションコードは、下記の URL から MUTOH Club へアクセスし、「新規登録」からユーザー登録を行うと入手できます。https://club.mutoh.co.jp/mutoh/guser/

Note

上記のメッセージが表示されているときに キーをタップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

インク充てん前に、クリーニングワイパーを取り付けます。

Step 3　クリーニングワイパーの取り付け

[1]

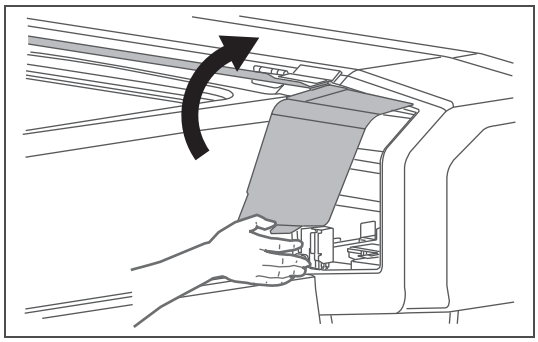
```
ワイパー　ヲ　トリツケテ、
Enterキーヲ　タップシテクダサイ
```

左のメッセージが表示されます。
・[Enter] キーをタップします。

```
ワイパーヲ　トリツケマシタカ?
                    イイエ
```

左のメッセージが表示されます。

[2]

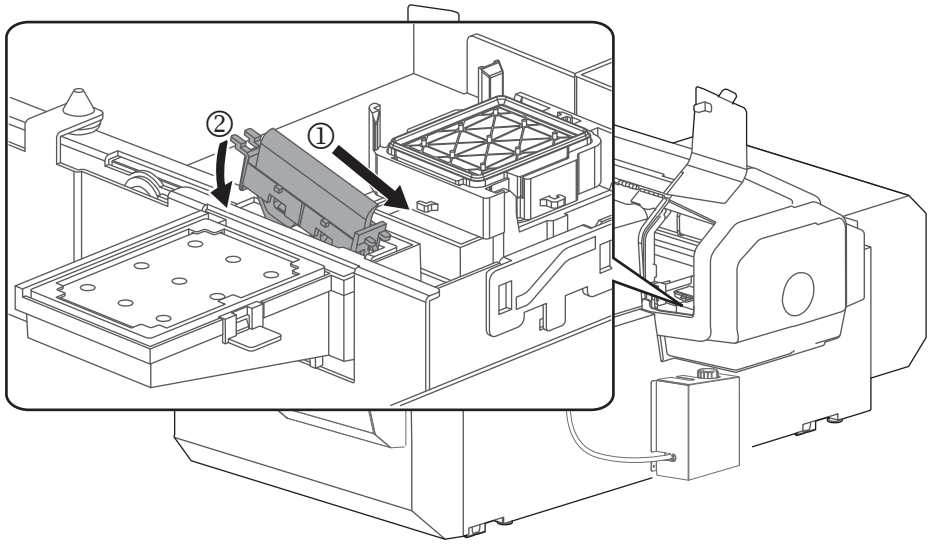


図のようにつまみを持ち、メンテナンスカバーをゆっくりと開きます。
・メンテナンスカバーは完全に開ききってください。

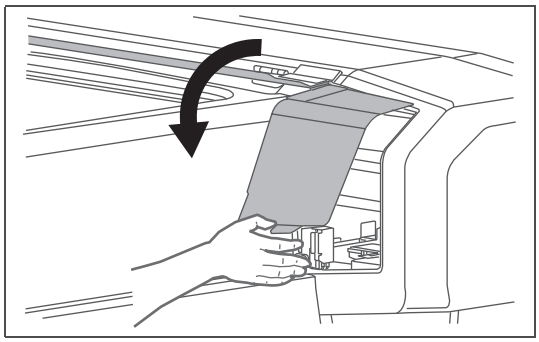
[3] 以下の手順に従って、クリーニングワイパーを取り付けます。
・クリーニングワイパーの手前側を挿入します。
・クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。

Important!

- クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。
  皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーニングワイパーの取り付けは、手袋を着用して行ってください。



[4]



図のようにつまみを持ち、メンテナンスカバーをゆっくりと閉じます。

[5]

```
ワイパーヲ　トリツケマシタカ?
                          ハイ
```

- ^ キー、または v キーをタップして、「ワイパーヲ　トリツケマシタカ？　ハイ」を選択します。
- [Enter] キーをタップします。

以下の手順に従って、初期洗浄と初期充てんを行います。

Step 4　初期洗浄～初期充てん

必要なもの：

- 洗浄カートリッジ：6 本
- インクカートリッジ（インクパック）：6 本
  4 色設定：マゼンタ ×2、シアン ×2、ブラック、イエロー
  6 色設定：ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、バーニッシュ、ホワイト

Note

- インクパックを使う場合は、大容量パックアダプターが必要です。
- 大容量パックアダプターの取り扱い方法につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書を参照してください。

1. 初期洗浄

[1]

```
インクジュウテン
カイシ                    ー>  Enter
```

左のメッセージが表示されたら、[Enter] キーをタップします。

Note

上記のメッセージが表示されているときに ⌂ キーをタップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

[2]

```
ハイエキ　ヲ　ステテ、
Enterキーヲ　タップシテクダサイ
```

左のメッセージが表示されたら、廃液タンクが空なのを確認して [Enter] キーをタップします。

ハイエキ　ヲ　ステマシタカ?
イイエ

左のメッセージが表示されます。

[3]

ハイエキ　ヲ　ステマシタカ?
ハイ

・ ▲ キー、または ▼ キーをタップして、「ハイエキヲ　ステマシタカ？　ハイ」を選択します。
・[Enter] キーをタップします。

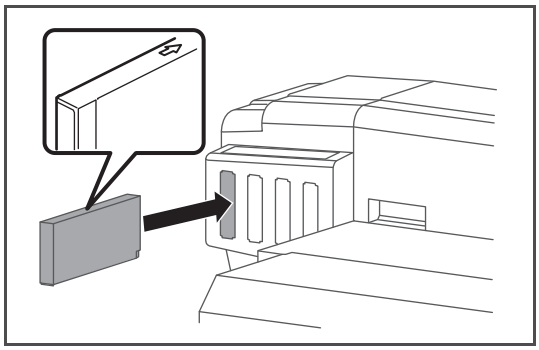
センジョウカートリッジ　ヲ　セット

左のメッセージが表示されます。

Note

（初回使用時やタンク交換時など）廃液タンクが空またはタンク内の廃液が少量のときに、廃液タンクからインクが排出できないことがありますが、ご使用上問題はありません。

[4]



すべてのカートリッジスロットに洗浄カートリッジを差し込みます。
・矢印マークを上にしてください。
・奥までしっかり差し込んでください。

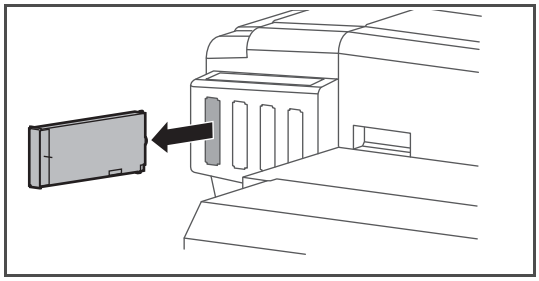
ヘッドセンジョウチュウ　　＊＊%

洗浄液の充てんを開始します。

カートリッジヲ　ヌイテクダサイ

洗浄液の充てんが終わると、左のメッセージが表示されます。

[5]



すべての洗浄カートリッジを抜きます。

ヘッドセンジョウチュウ　　＊＊%

洗浄液の排出を開始します。

[6]

ハイエキ　ヲ　ステテ、
Enterキーヲ　タップシテクダサイ

左のメッセージが表示されます。
・廃液タンクを空にします。
☞「廃液の排出」P. 34

Note

（初回使用時やタンク交換時など）廃液タンクが空またはタンク内の廃液が少量のときに、廃液タンクからインクが排出できないことがありますが、ご使用上問題はありません。

2. 廃液の排出

⚠ 警　告

- 廃液は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 廃液は火気や高温のものから遠ざけてください。
- 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。
  他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。

- 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。

⚠ 注　意

- 硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。
- UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
  作業を行うときは、かならず保護具（付属の手袋もしくは耐溶剤性の手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用し、インクが付着しないよう注意してください。
- 手袋にインクが付着した場合は、新しい手袋に取り換えてください。
- 衣類等に付着した場合はすぐに脱ぎ、再使用する場合は、洗濯をしてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸と多量の水で 15 分間洗浄し、万一刺激が続いたり炎症がある場合は、医師の診断／手当を受けてください。
- 眼に入った場合は、多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の診断／手当を受けてください。
- 飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないようにし、医師の診断／手当を受けてください。

[1]　廃液を移し替える容器を用意します。

Important!

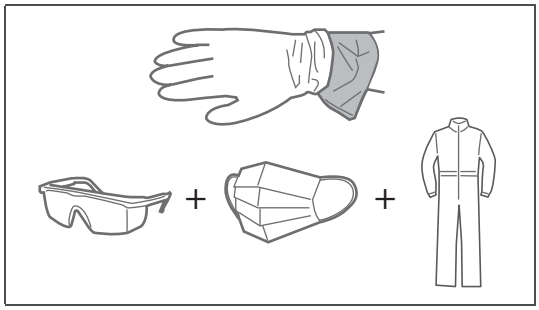
廃液タンクの容量は 2,000ml です。廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

Note

廃液タンクが空またはタンク内の廃液が少量のときに、廃液タンクからインクが排出できないことがあります。

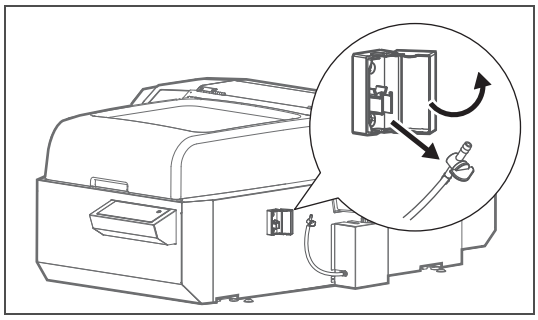
[2]　汚れてもかまわない紙や布を廃液タンクの下にしきます。

[3]



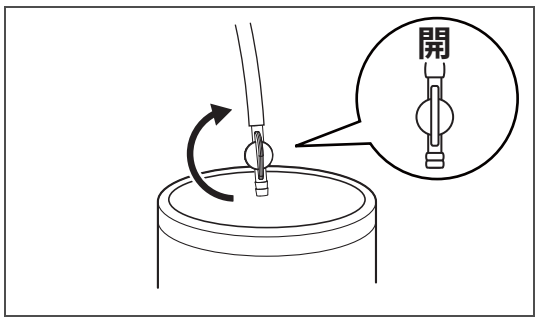
- ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用します。
- ゴーグル、保護マスク、保護衣など保護具を着用します。

[4]



開閉コッククランプのカバーを開き、開閉コックを取り外します。

[5]

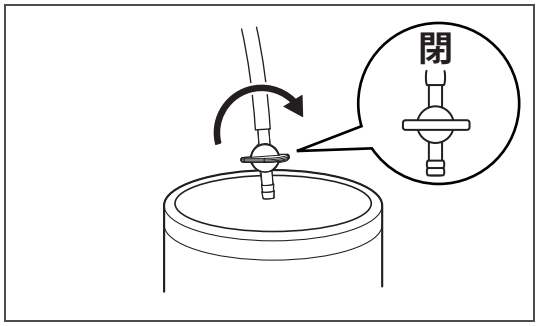


開閉コックの先端を空容器に入れた後、開閉コックを開き、空容器に廃液を移します。

Important!

開閉コックを開き空容器に廃液を移すときに、廃液が飛び散ることがあります。
開閉コックの先端を空容器に入れて処理を行ってください。

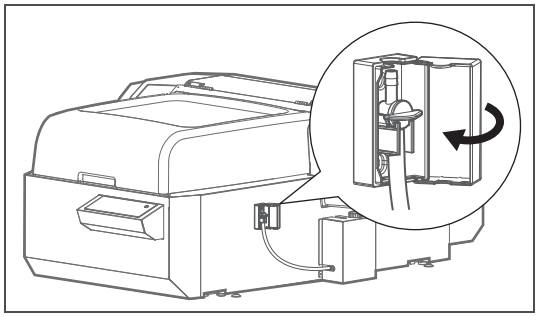
[6]



廃液を空容器に移し終わったら、開閉コックを確実に閉めます。

[7] 開閉コックの口を乾いた布で拭き取ります。

[8]



開閉コックを開閉コッククランプに収納し、カバーを閉じます。

[9] 廃液は産業廃棄物として処理します。

警　告

- プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
  廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。
  廃液処理業者に処理を委託してください。
- 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。

3. 初期充てん

[1]

```
ハイエキ　ヲ　ステテ、
Enterキーヲ　タップシテクダサイ
```

[Enter] キーをタップします。

Note

廃液タンクが空またはタンク内の廃液が少量のときに、廃液タンクからインクが排出できないことがあります。

[2]

```
ハイエキ　ヲ　ステマシタカ?
                        ハイ
```

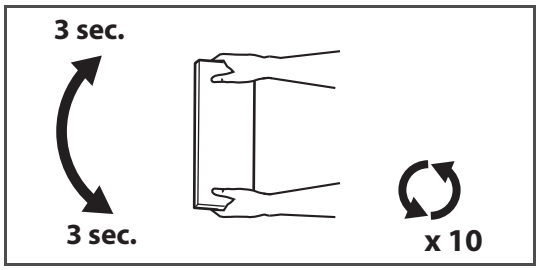
・ キー、または キーをタップして、「ハイエキヲ　ステマシタカ？　ハイ」を選択します。
・ [Enter] キーをタップします。

左のメッセージが表示されます。

```
インクカートリッジ　ヲ　セット
```

インクカートリッジをお使いの場合の手順

[1]

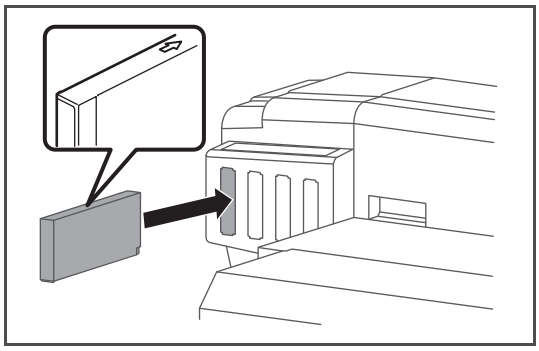


インクカートリッジは、かならずかくはんしてください。
・差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
・次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
・10 回繰り返します。

Note

バーニッシュはかくはんせずにご使用いただけます。

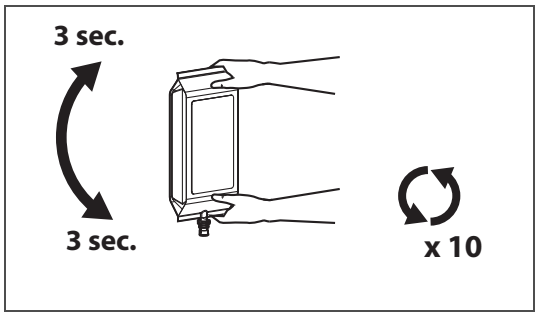
[2]



インクカートリッジを本製品に差し込みます。
・本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
・矢印マークを上にしてください。
・奥までしっかり差し込んでください。

大容量パックアダプターをお使いの場合の手順

[1]



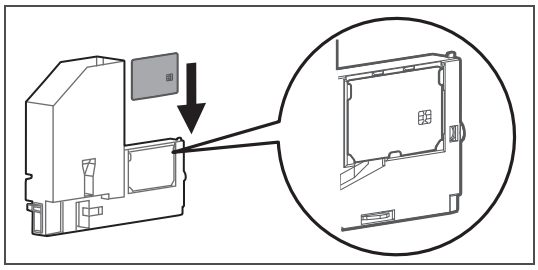
インクパックは、かならずかくはんしてください。

・差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
・次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
・これを 10 回繰り返します。

Note

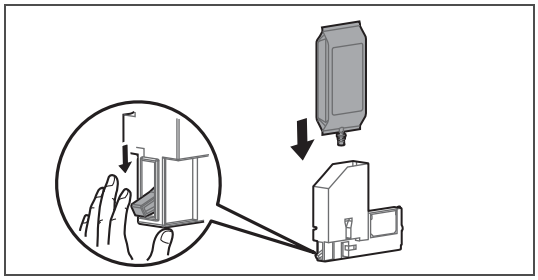
バーニッシュはかくはんせずにご使用いただけます。

[2]



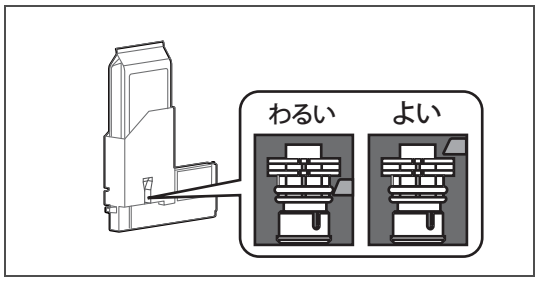
大容量パックアダプターのツメにスマートチップカードをスライドして取り付けます。

[3]



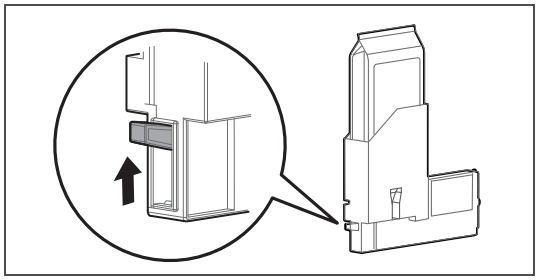
大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、インクパックを挿入します。
・インクパックは奥までしっかりと挿入してください。

[4]



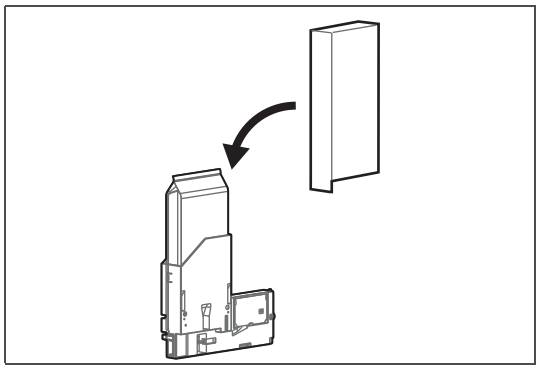
インクパックが奥まで差し込まれ、ロックしていることを確認します。

[5]



大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。

[6]

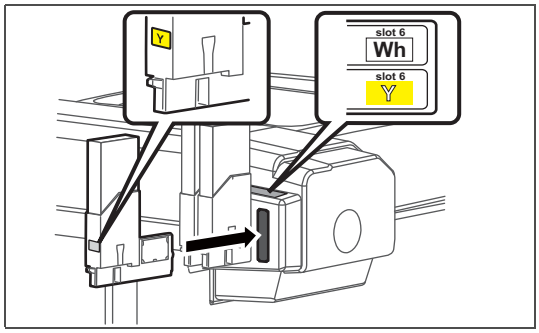


遮光カバーを取り付けます。

Note

遮光カバーは大容量パックアダプターの内側に入るように取り付けてください。

[7]



大容量パックアダプターを差し込みます。

・本製品のラベルとインクパックの色を合わせてください。
・奥までしっかり差し込んでください。

インクをセットした後の手順

[1]

左のメッセージが表示されます。
・インク充てんを開始します。

⚠ 注　意

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。
- 製品の電源をオフにする
- 製品の電源ケーブルを抜く
- フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける
- プリンターを移動する

[2]

インク充てんが完了すると、左のメッセージが表示されます。
・インク充てんが完了しました。

テスト印刷

以下の手順に従って、プリンターにメディアをセットします。

プリンターにメディアをセットする

必要なもの：

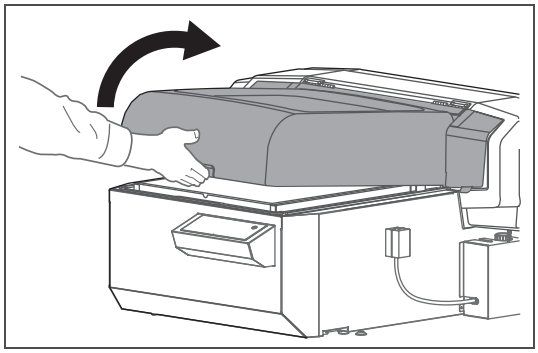
- メディア（A4 サイズ）

1. メディアをテーブルに置く

[1]

左のメッセージが表示されていることを確認します。
表示されていないときは、▼ キーをタップください。

[2]

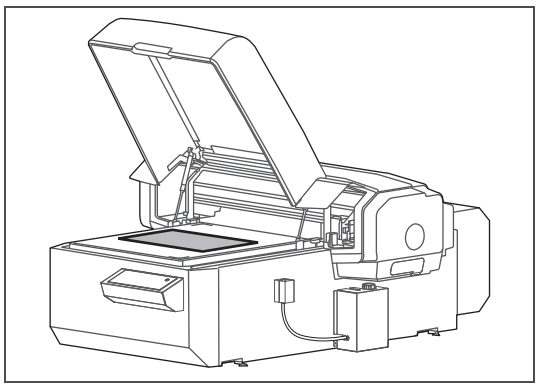


フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開きます。

[3]

左のメッセージが表示されているときに、▲ キー / ▼ キーで、印刷中の吸着ファンの強さを変更することができます。
吸着ファンは、▲ キー / ▼ キーをタップすると動作を開始します。
設定を変更すると、選択中のユーザー定義に反映されます。

[4]

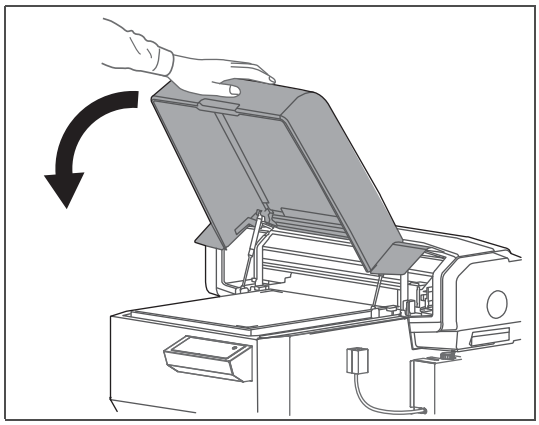


テーブルにメディアを置きます。

- A4 サイズ以上のメディアを横にしてセットしてください。

Note

- メディアの右手前の角を、テーブルにある溝に合わせてください。

[5] 

フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと閉じます。

Important!

本製品使用時に障害物検出領域に物を置かないでください。
障害物検出領域に物を置くと、障害物センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。
詳細については、取扱説明書「本製品の印刷エリア」を参照してください。

2. メディアを確認する

[1]

```
メディア　ヲ　セットシテ、
[∧]キーヲ　タップシテクダサイ
```

キーをタップします。

```
シバラク　オマチクダサイ
```

左のメッセージが表示されます。

- **テーブルが奥に移動して、メディアをヘッドに接触させないために、障害物センサーを用いてチェックを行います。**

Note

テーブルの位置が高すぎるときは、「ショウガイブツ　ケンシュツ　[∨] キーヲ　タップシテクダサイ」と表示されます。
キーをタップし、テーブルの高さを再調整してください。

[2]

```
**:セットカクニンヒョウジ:
                    オン
```

[Enter] **キーをタップします。**

Note

- 本メニューは、ユーザー定義の初回選択時のみ表示します。
- 「オン」を選択すると、毎メディアセット時に、キーをタップした後「メディア高さ」「障害物検出」「メディアサイズ」「原点位置」の入力を行います。
- キーで「オフ」を選択すると、毎メディアセット時に、キーをタップした後「インサツデキマス」を表示します。その場合は、「メディア高さ」「障害物検出」「メディアサイズ」「原点位置」は、選択しているユーザー定義の設定値を使用します。
- 「オフ」を選択した後でも、「インサツデキマス」または「メディア　ヲ　セットシテ、[∧] キーをタップシテクダサイ」表示中に [Cancel] キーをタップすると、「**: メディアセッテイ 1　セットカクニン」から「メディア高さ」「障害物」「メディアサイズ」「原点位置」が入力できます。

[3]

**:タカサ:
オート

/ キーでメディアの高さの設定方法を選択します。

- 「オート」：自動でメディアの高さを検出します。
  障害物センサーが反応しなくなるまで、テーブルを下降します。
- 「マニュアル」：手動でメディアの高さを入力します。

[Enter] キーをタップします。

- 「オート」を選択した場合

[4]

**:PGオフセット:
(0.0-1.5) 0.0 mm

/ キーでプリントヘッドとメディアとの間の補正距離を入力し、[Enter] キーをタップします。

Note

プリントヘッドとメディアとの間の距離の初期値は 1.2 mm です。
さらに距離を広げる場合に、0.0 mm ～ 1.5 mm の間で入力することができます。

- 例）「PG オフセット：0.5 mm」に設定した場合、プリントヘッドとメディアとの間の距離は、1.2 mm + 0.5 mm = 1.7 mm になります。

- 「マニュアル」を選択した場合

[5]

**:メディアタカサ:
(0.0-150.0) 0.0 mm

/ キーでメディアの高さを入力し、[Enter] キーをタップします。

Note

メディアの高さは 0.0 mm ～ 150.0 mm の間で入力することができます。

[6]

```
**:ショウガイブツケンシュツ:
                        オート
```

/ キーで印刷中の障害物検出時の動作を設定します。

- 「オート」：印刷を一時中断します。
  センサーが反応しなくなるまでテーブルを下降してから、印刷を再開します。
- 「キャンセル」：印刷をキャンセルし、操作パネルに障害物検出エラーを表示します。
- 「カクニン」：印刷を一時中断します。
  印刷の再開、またはキャンセルを選択するメニューを表示します。

[Enter] キーをタップします。

Note

テーブルを一番下まで下降してもセンサーが反応する場合、印刷を中止し、操作パネルに障害物検出エラーを表示します。

[7]

```
シバラク　オマチクダサイ
```

左のメッセージが表示されます。

- テーブルが奥に移動しながら、障害物センサーでメディアを検知します。

障害物が検出されない場合、手順 8 に進みます。

障害物センサーが反応する場合、操作パネルに障害物検出エラーを表示します。

- キーをタップします。
  キーをタップし、メディアの高さを修正してください。

☞ 「メディアをテーブルに置く」P. 39

☞ 「メディアを確認する」P. 40

[8]

```
＊＊:ハバ:
(30 - 483)              483 mm
```

キー / キーでメディアの幅を入力し、[Enter] キーをタップします。

Note

幅は 30 mm ～ 483 mm の間で入力することができます。

[9]

```
＊＊:ナガサ:
(30 - 594)              594 mm
```

キー / キーでメディアの長さを入力し、[Enter] キーをタップします。

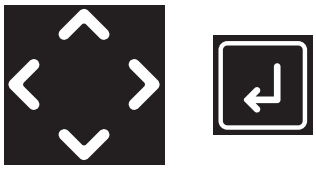
Note

長さは 30 mm ～ 594 mm の間で入力することができます。

[10]

```
＊＊:ゲンテンセッテイ:
PF:  0.0          CR:  0.0
```

・ キー / キーで、前後方向 (PF) の印刷開始位置を入力します。
・ キー / キーで、左右方向 (CR) の印刷開始位置を入力します。
・ [Enter] キーをタップします。



Note

原点は PF: 0.0 ～ 574.0、CR: 0.0 ～ 463.0 の間で入力することができます。

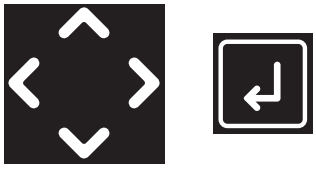
```
ゲンテンイチ　ニ　イドウチュウ
```

・ テーブルが奥に移動します。
・ LED ポインターを点灯しながらキャリッジが設定位置に移動します。

[11]

```
＊＊:ゲンテンセッテイ:
PF:  0.0          CR:  0.0
```

移動位置を確認します。
・ キー / キーで、前後方向 (PF) の印刷開始位置を調整します。
・ キー / キーで、左右方向 (CR) の印刷開始位置を調整します。
・ [Enter] キーをタップします。



```
シバラク　オマチクダサイ
```

左のメッセージが表示されます。

```
インサツデキマス
                  Type 1
```

メディアのセットを終了します。

ノズルチェックを印刷し、ノズル抜けがあるときは、クリーニングを行います。

ノズルチェックとクリーニング

Important!

初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- 印刷した線がかすれる
- 部分的に印刷されない

このような場合には、取扱説明書「メニュー 3：メンテナンス」「1：クリーニング」に従って、微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。
微量充てんを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。
それでも印刷結果に変化が無い場合は、「お問い合わせ先」P. 59 までご連絡ください。

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

- ノズルチェック：ノズルチェックを印刷します。
  ☞「通常のノズルチェックの場合」P. 44
- ノズルチェック B：一部のノズルチェックパターンの背景に色をつけて印刷します。
  ☞「ノズルチェック B の場合」P. 45

Note

- 6 色設定時のみ、メニューに「ノズルチェック B」を表示します。
- ホワイトインクを使用する場合は、有色メディアや、透明または半透明のメディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

1. ノズルチェックの手順

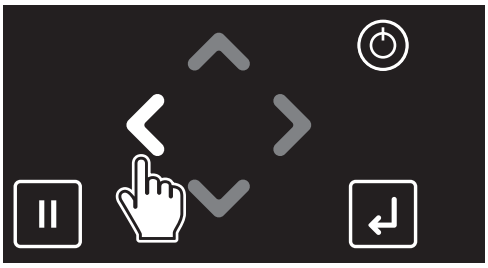
通常のノズルチェックの場合

[1] ノズルチェックで使用するメディアをセットします。
☞「テスト印刷」P. 39

[2]

左のメッセージが表示されていることを確認します。

[3]



キーをタップします。

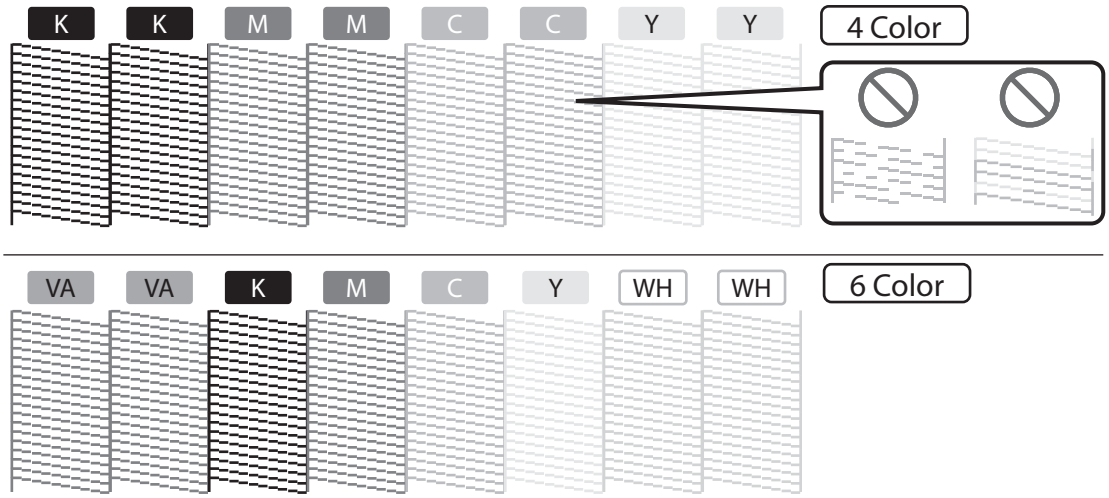
[4]

[Enter] キーをタップします。
・ノズルチェックパターンを印刷します。

[5] パターンを確認します。

・ノズル抜けがある場合は、「クリーニングの手順」P. 46 に進みます。

・ノズル抜けがない場合は、印刷を開始できます。



Note

パターンの横に、プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

ノズルチェック B の場合

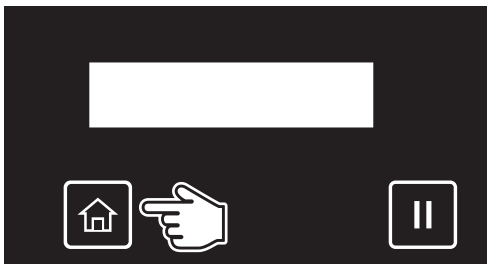
[1] ノズルチェックで使用するメディアをセットします。

☞「テスト印刷」P. 39

[2]

左のメッセージが表示されていることを確認します。

[3]



[Home] キーをタップします。

[4]

・ キーをタップして、左の表示にします。

・ キーをタップします。

[5]

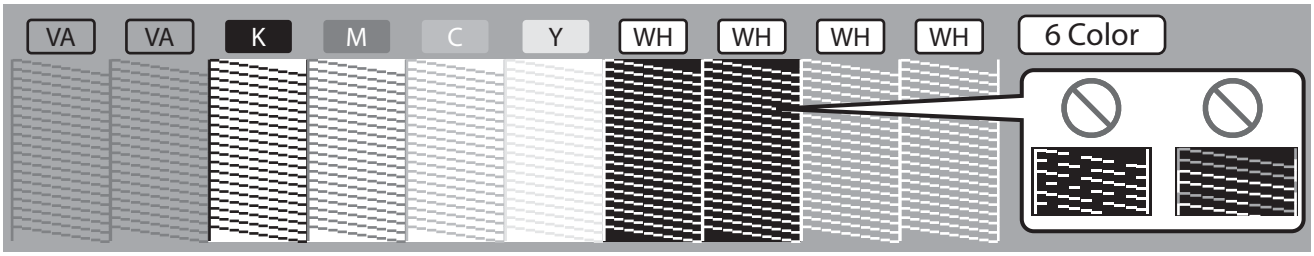
・ キーをタップして、左の表示にします。

・ [Enter] キーをタップします。

[6] パターンを確認します。

・ノズル抜けがある場合は、「クリーニングの手順」P. 46 に進みます。

・ノズル抜けがない場合は、印刷を開始できます。



Note

・上記のパターンは、ノズルチェック B の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。

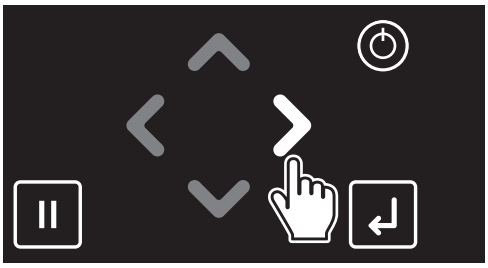
・パターンの横に、プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

2. クリーニングの手順

[1]

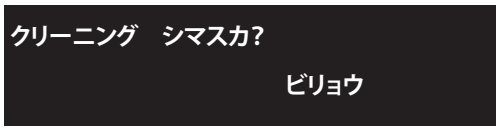
左のメッセージが表示されていることを確認します。

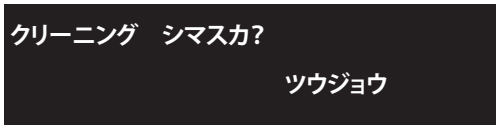
[2]

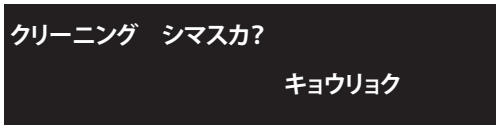


キーをタップします。

[3]







実行するクリーニングモードを、キー / キーで選択します。

[Enter] キーをタップします。

・クリーニングを開始します。

[4] もう一度、ノズルチェックを行います。

☞「ノズルチェックの手順」P. 44

・ノズル抜けが直らない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。
クリーニングの詳細については、取扱説明書「ヘッドクリーニング」を参照してください。

ソフトウェアのダウンロードとインストール

プリンターと接続するコンピューターに以下のソフトウェアをインストールします。

プリンタードライバー	コンピューターから本製品に印刷データを送るために必要です。印刷設定を変更するときなどにも使用します。 **Note** プリンタードライバーを使用して印刷を行う場合は、取扱説明書「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」を参照して、インク色数を設定してください。
MUTOH Status Monitor (MSM)	本製品のステータス情報を確認したり、各種設定を変更することができます。テスト作画を行うこともできます。
Layout and Print Tool 2	簡易的な印刷ツールです。
MUTOH Layer Editor	プリンタードライバーと Layout and Print Tool 2 のレイヤー印刷機能を向上させます。

初回セットアップ時は、統合インストーラーを使用してソフトウェアのダウンロードおよびインストールを行ってください。統合インストーラーは MUTOH Club からダウンロードできます。

[1] MUTOH Club **にアクセスします**（https://mutoh-club.com/）。

[2]

［**ログイン**］**をクリックします。**

[3] **次の画面で［新規登録］をクリックし、画面に沿って登録します。ユーザー登録が終わると、ダウンロードメニューが表示されます。**

Important!

登録中に表示されるアクティベーションコードはプリンターの初回起動時に必要になります。（登録したメールアドレスへも送信されます）

[4] **統合インストーラー「**MUTOH Printer **スタートアップアシスタント** for XPJ-661UF**」をダウンロードします。**

Note

統合インストーラーには上記ソフトウェアのほか、以下のマニュアルがパッケージされています。マニュアルの閲覧方法は 「マニュアルの閲覧方法」P. 51 をご覧ください。

- XPJ-661UF 取扱説明書「使い方とメンテナンス方法」
- XPJ-661UF スタートアップガイド（本書）
- XPJ-661UF プリンタドライバユーザーズガイド
- MUTOH Status Monitor 取扱説明書
- Layout and Print Tool 2 取扱説明書

[5] ダウンロードした zip ファイルを任意の場所に解凍します。

[6] 解凍したフォルダを開き、MpTotalInst.exe をダブルクリックします。
・統合インストーラーが起動します。

[7] 「メインメニューへ」をクリックします。

[8] スタートアップウィザードメニューを選択し、「スタートアップウィザードを開始する」をクリックします。

[9] 画面の指示に従って各種ソフトウェアのインストールとプリンターのセットアップを行ってください。

スリープモード

本製品を使わないときは、電源コードを抜かずに、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

また、スリープモードにする前は、操作パネルの指示に従って、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。

スリープモード中は以下の動作を行います。

- クリーニングタイマーメニューで設定した時間が経過すると、自動でヘッドクリーニングを行う。
- プリンター内にあるインクの一部を循環する。
- インクの微量充てん

Important!

スリープモードを 7 日間以上継続する場合は、7 日間が経過した時点で下記を行ってください。

・インクの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。

・インクをかくはんしてください。

手順

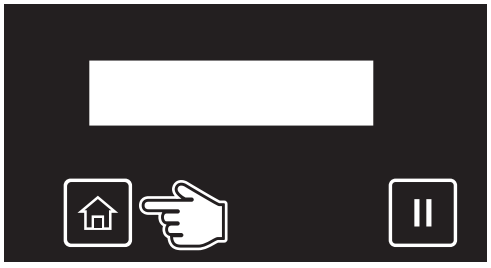
[1] **製品の動作状態について以下を確認します。**
・フロントカバー、メンテナンスカバーが閉じていること。
・メディアと治具が取り外されていること。
・インクの残量が十分にあること。
・廃液タンクの空き容量が十分にあること。

Important!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃インクを排出してください。

[2] **デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。**
☞ 「デイリーメンテナンスシート」

[3]



[Home] **キーをタップします。**

[4]

・ キーを何回かタップして、左の表示にします。
・ キーをタップします。

[5]

キーをタップします。

[6]

```
スリープモード
カイシ          ー>   Enter
```

[Enter] キーをタップします。

[7]

```
デイリーメンテナンス
カイシ          ー>   Enter
```

[Enter] キーをタップします。

```
シバラク　オマチクダサイ
```

テーブルが手前に移動します。

[8]

```
メディア　ヲ　トリノゾイテ、
Enterキーヲ　タップシテクダサイ
```

メディアと治具を取り除き、[Enter] キーをタップします。

```
シバラク　オマチクダサイ
```

- テーブルが本製品の奥側に移動します。
- キャリッジが本製品の中央へ移動します。
- クリーニングワイパーが上側へ移動します。

[9]

```
デイリーメンテナンス
シュウリョウ          ー>   Enter
```

左のメッセージが表示されます。
- デイリーメンテナンスを行います。
  ☞「デイリーメンテナンスシート」
- メンテナンス終了後、[Enter] キーをタップします。

```
シバラク　オマチクダサイ
```

左のメッセージが表示されます。

[10]

```
クリーニングチュウ          ＊＊%
```

自動で微量クリーニングを行います。

```
スリープモード
シュウリョウ          ー>   Enter
```

- スリープモードを開始します。
- スリープモードから復帰する場合は、[Enter] キーをタップします。

Note

- クリーニングタイマーをセットするには取扱説明書の「スリープモード 2：クリーニングタイマー」をご覧ください。
- 本製品は、スリープモードからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充てんを行うことがあります。動作は経過時間により異なります。この動作はスリープモードの設定によるものではなく、本製品の自動メンテナンス機能によるものです。

マニュアルの閲覧方法

[1] MpTotalInst.exe をダブルクリックします。
・統合インストーラーが起動します。

[2]

［メインメニュー］を選択します。

[3]

［マニュアル］を選択します。

[4]

閲覧するマニュアルを選択します。

安全にお使いいただくために

大切なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。
もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
- 本製品の使用方向を変えてみる
- 受信機と本製品の距離を変えてみる
- 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

本システム（きょう体と安全装置含む）は、クラス 1 レーザ機器です。

【注意】
本書および取扱説明書に規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザ放射の被ばくをもたらします。
IEC 60825-1 Edition 3.0

【本システムのレーザ仕様】（きょう体を含む）
最大出力：390μW 以下、パルス持続時間：3.0 μs、波長：655 nm

安全表示について

警告と注意の意味

警　告	**回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。**
注　意	**回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。**

図記号の意味

警告記号	意味
	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、かならず実行していただく「強制」内容です。

Note

安全表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「はじめに」をご覧ください。

感電・ショート・火災について

⚠ 警　告

湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。
感電・火災の恐れがあります。

破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

以下の場所には、アース線を接続しないでください。
- **ガス管**
  引火や爆発する恐れがあります。
- **電話線用アース線および避雷針**
  落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
- **水道管および蛇口**
  配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。

通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源ボタンをオフし、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサポートまでご連絡ください。

毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと本製品内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。

電源ケーブルを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。
- **電源ケーブルを加工しないこと。**
- **電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。**
- **電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。**
- **電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。**

電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。
- **電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。**
- **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。**

かならず指定の電源を使用してください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

電源コンセントから直接電源を取ってください。
タコ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。

電源はかならずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。

アース線は、かならず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
- **電源コンセントのアース端子**
- **銅片を深さ** 650 mm **以上の地中に埋めたアース線**
- D **種接地工事を行っている接地端子**

インクは、火気や高温のものから遠ざけてください。
UV 硬化インクは危険物第 4 類第 3 石油類（非水溶性液体）に該当します。引火すると火災の原因となります。

かならず指定の電源ケーブルを使用してください。
- 指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
  指定の電源ケーブルについては、販売店までお問い合わせください。
- 電源ケーブルは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。
- 電源ケーブルは使用する国の安全規格、電源電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。

各種コード（ケーブル）は、本書で指示されているとおりに配線してください。
配線を誤ると、火災の恐れがあります。

ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。
感電または故障する恐れがあります。

本製品内部に水気が入らないように注意してください。
電気回路がショートする恐れがあります。

設置について

⚠ 警　告

本製品を以下の場所には設置しないでください。
転倒・転落により、けがをする恐れがあります。
- **ぐらついた台の上**
- **傾いている場所**
- **他の機械等の振動が伝わる場所**

⚠ 注　意

本製品を傾けたり、上下を逆にしないでください。
内部のインクが漏れる恐れがあります。
また移動後の正常動作が保証できません。

本製品を開梱または移動する場合は、かならず 4 人以上で作業してください。

この機器は子供がいる可能性がある場所での使用には適していません。

本製品は水平の状態を保ったまま移動してください。

本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。
ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。

取り扱いについて

⚠ 警　告

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
転倒・転落によりけがをする恐れがあります。

⚠ 注　意

清掃時は、以下を守ってください。
- **インクが目に入らないよう、ゴーグルなどの保護具を着用してください。**
- **インクが直接手に付かないよう、手袋を着用してください。**
- **清掃作業は、必ず指示された手順通り行ってください。**
  特にプリントヘッド周辺、クリーニングワイパー、キャップを清掃した後に、同一のクリーンスティックでノズル面を湿らせることはしないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- **必ず未使用のクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから、作業を行ってください。**
  専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- **クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。**
  皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- **クリーンスティックは再利用しないでください。**
  付着したホコリ等により、プリントヘッドが破損する恐れがあります。

プリントヘッド外周を清掃するときは、プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。
プリントヘッドが破損する恐れがあります。

クリーニングワイパーを清掃するときは、クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。
油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。

取り扱いについて（続き）

本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。
移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。

この装置は UV-LED ランプから紫外線や有害な恐れのある光を放射します。

- **保護なしで目や皮膚を暴露することは避けてください。**
- **動作中のランプを見つめないでください。目に害を及ぼす可能性があります。**

フロントカバーおよびメンテナンスカバーの取り扱いは以下を守ってください。

- **カバーに送風機、空調設備などの強い風が当たる場所に設置しないでください。**
  突然閉まる恐れがあります。
- **カバーを開けるときは、周囲の安全を十分に確認してください。**
  周囲の物や人にぶつかる恐れがあります。

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- **本製品の電源をオフにする**
- **本製品の電源ケーブルを抜く**
- **フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける**
- **プリンターを移動する**

シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。
塗装を傷める原因となります。

メディアをセットするときは、メディアの置き方と入力するメディア情報に注意してください。
メディア情報が正確に入力されていない場合、メディアからはみ出してテーブル上に印刷してしまう恐れがあります。
テーブル上に付着したインクは UV ランプによって硬化し、取り除くことができません。

作業場所は換気してください。
インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。
頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。

消耗品について

⚠ 警　告

- 廃液は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 廃液は火気や高温のものから遠ざけてください。
- 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。
  他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。

- プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
- 廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。
  廃液処理業者に処理を委託してください。
- 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。
- 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。

⚠ 注　意

インクカートリッジ（インクパック）を分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。

インクカートリッジ（インクパック）をはじめて使用する前に、かならず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。

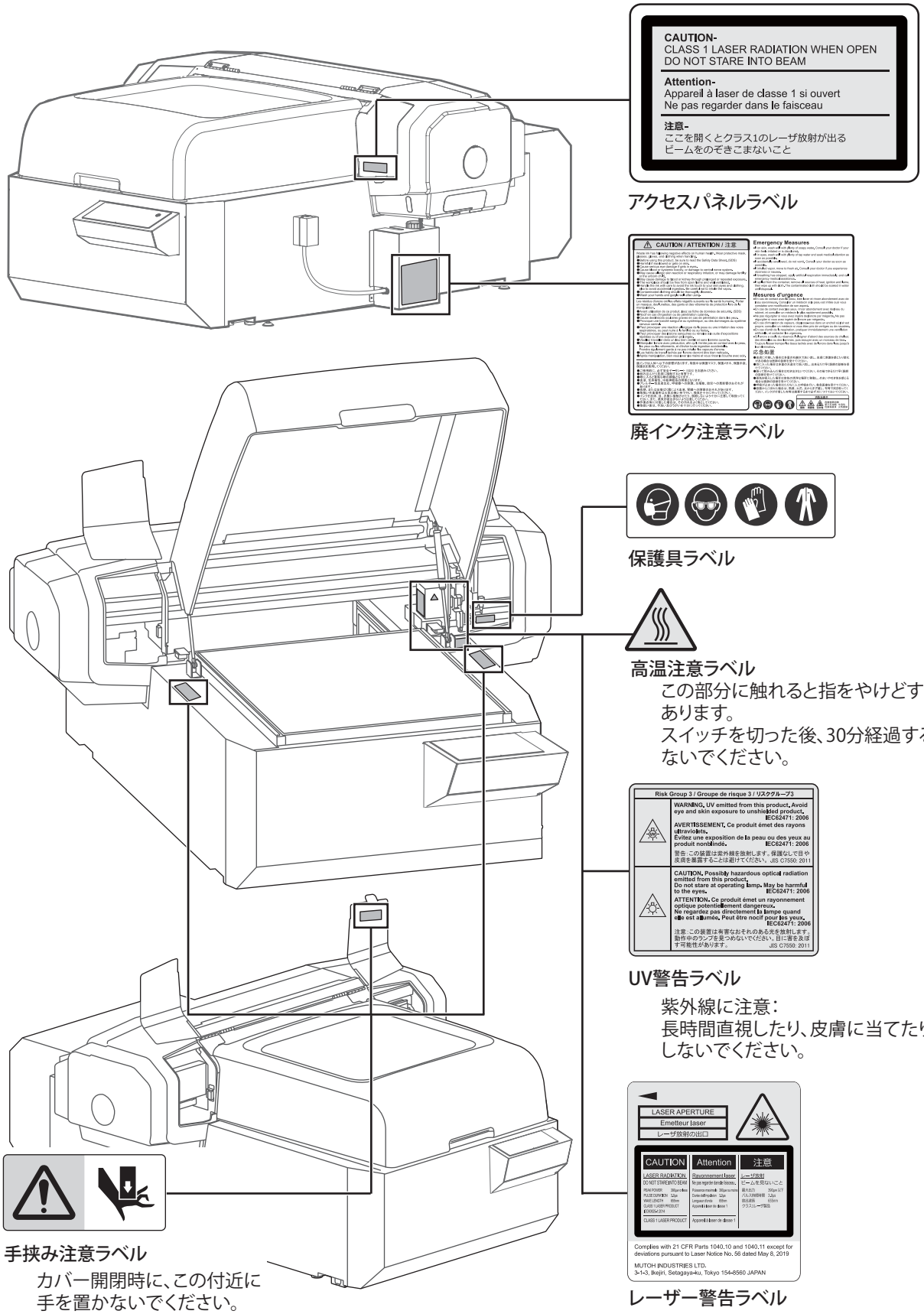
硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。
- プリンター使用時は保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣）をご着用ください。
- 特にインクの付着する恐れがある作業を行う場合（例：インクカートリッジ（インクパック）および廃液の取り扱い、プリントヘッド・キャップ・ワイパのクリーニング）、必ず付属品の手袋もしくは耐溶剤性の手袋、ゴーグル等の保護具を着用し、インクが付着しないよう注意してください。
- 手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸と多量の水で 15 分間洗浄し、万一刺激が続いたり炎症がある場合は医師の診断 / 手当を受けてください。
- 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の医師の診断 / 手当を受けてください。
- 飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないようにし、医師の診断 / 手当を受けてください。

インクカートリッジ（インクパック）を落としたり、強く叩いたりしないでください。
インクが漏れる場合があります。

インクカートリッジ（インクパック）は必ず下記を行ってください。
- 初めて使用する前にかくはんしてください。
- パネルメッセージに従ってかくはんしてください。

警告ラベルについて

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、かならずお守りください。
ラベルが剥がれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。



アクセスパネルラベル

廃インク注意ラベル

保護具ラベル

高温注意ラベル

この部分に触れると指をやけどするおそれがあります。
スイッチを切った後、30分経過するまで触れないでください。

UV警告ラベル

紫外線に注意：
長時間直視したり、皮膚に当てたりしないでください。

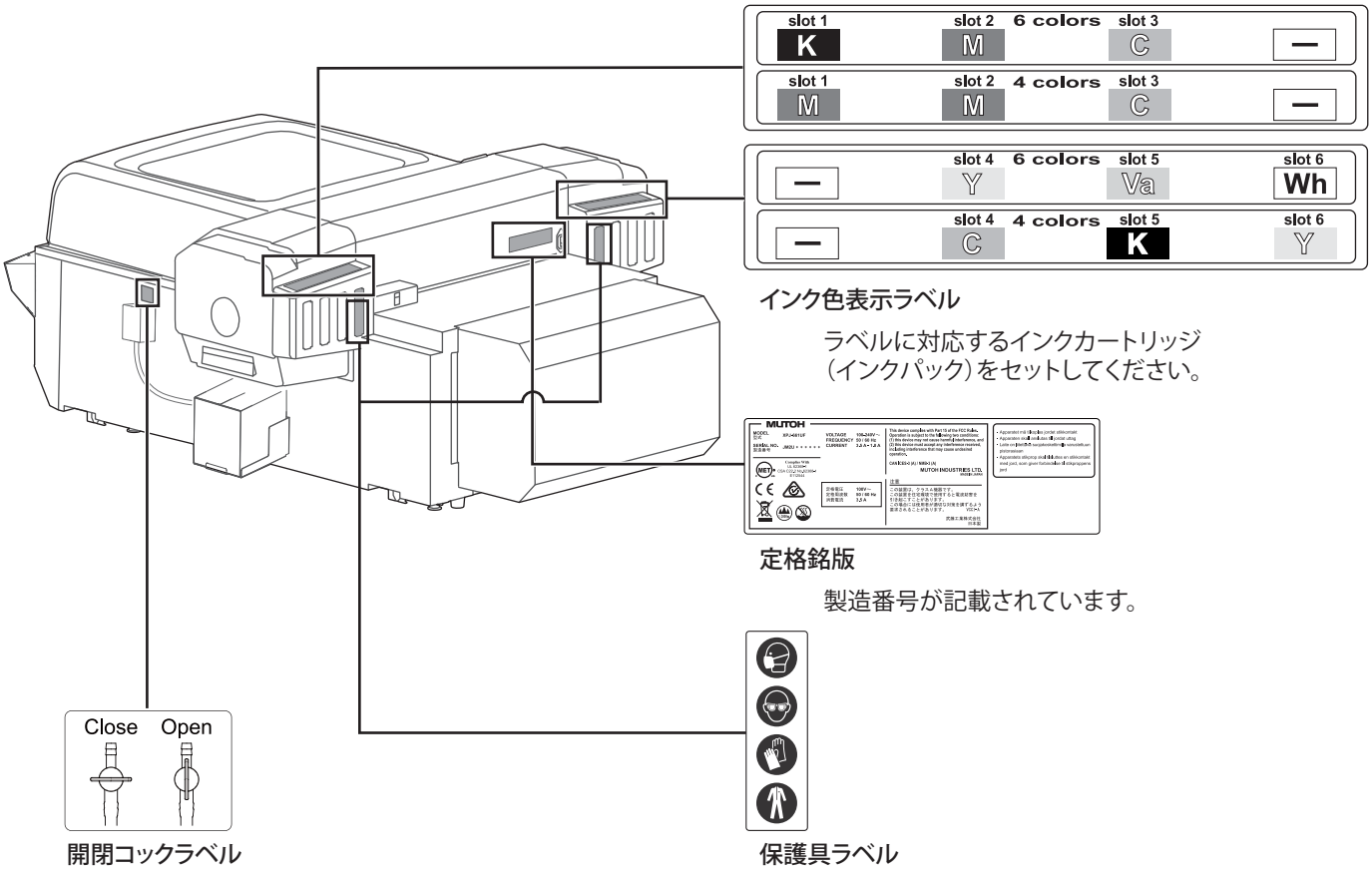
手挟み注意ラベル

カバー開閉時に、この付近に手を置かないでください。

レーザー警告ラベル

操作説明ラベルについて

本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。



インク色表示ラベル

ラベルに対応するインクカートリッジ（インクパック）をセットしてください。

定格銘版

製造番号が記載されています。

開閉コックラベル

保護具ラベル

お問い合わせ先

本製品でお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL : 0120-174911

FAX : 0120-184711

E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

MUTOH